

令和4年8月29日
保健福祉政策部生活福祉課

令和3年度社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会の経営状況について

1 事業実績（概要）

(1) 地域福祉推進事業

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績数			
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数				
地区社協活動支援事業	地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業） まちづくりセンター・あんしんすこやかセンターと連携し、生活上の課題を抱えた方の相談支援や地域づくりに取り組んだ。	○		実施地区	28 地区	28 地区	28 地区			
				相談件数	-	3,570 件	4,046 件			
				訪問援助・資源調査件数	-	4,864 件	4,383 件			
				場の活用	-	252 件	230 件			
				サービス等創出件数	-	12 件	16 件			
	社会福祉法人等のネットワーク推進事業（世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会） 区内社会福祉法人の連携による困窮者支援として食支援を検討し、試行実施した。	○		参加法人数	36 法人	36 法人	36 法人			
				地域別連絡会	-	10 回	-			
地域支えあい活動支援事業	高齢者の新たな居場所づくり事業 千歳温水プール健康運動室等にてスマホ講座や手工芸等参加しやすいプログラムを提供し、高齢者の気軽な居場所として参加者同士の交流や仲間づくりのコーディネートを行った。	○		開催回数	48 回	48 回	-			
				地域支えあい活動支援 身近な地域における高齢者や障害者、子育て世帯による支えあい活動を推進した。	○		ふれあいいきいきサロン 団体数	660 団体	622 団体	637 団体
							支えあいミニデイ 団体数	68 団体	63 団体	67 団体
							延参加者数	-	85,849 人	61,040 人
子ども食堂支援 子ども食堂団体に、運営費や保険加入、フードドライブによる食材提供等の支援を行った。	○		運営費助成	35 団体	35 団体	26 団体				
			保険加入支援	40 団体	41 団体	39 団体				
			食材提供	38 団体	36 団体	33 団体				

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績数
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
地域福祉人材育成事業	地区活動入門講座 地域毎に福祉活動等に関する講座を開催し、地域活動人材の確保・育成を図った。			開催回数	5回	7回	2回
				参加人数	延200人	延70人 ※コロナの影響により1回あたりの参加人数を減らして開催	延23人
	地区サポーター 地域活動への参加を希望する人材を登録し、具体的な活動へのマッチングを行った。			登録者数	1,500人	1,393人	1,223人
				マッチング件数	-	362件	263件
	福祉学習 地域住民や福祉団体と協働し、学校等で体験型の福祉学習を実施した。			実施回数	75回	45回	44回
				参加者数	6,500人	4,019人	4,341人
日常生活支援事業	ふれあいサービス 高齢者や障害者、産前産後で生活に支援が必要な方を対象に、協力会員による家事支援、生活支援、外出支援を行った。	○		協力会員登録者数	650人	576人	540人
				利用会員数	-	529人	681人
				派遣時間数	18,000時間	16,242.5時間	15,394時間
				フォローアップ研修開催回数	2回	0回 ※新型コロナの影響により中止	0回 ※新型コロナの影響により中止
	支えあいサービス(介護予防・生活支援サービス) 介護保険制度の要支援者等を対象に、生活支援協力者による家事援助サービスを行った。	○		協力者登録数	320人	323人	282人
				利用者数	60人	63人	58人
				延利用回数	2,927回	2,877回	2,374回
子育て支援事業	世田谷区ファミリー・サポート・センター事業 子育ての手助けが必要な方(利用会員)と手助けができる方(援助会員)が身近な地域で助け合って子育てできるよう、会員登録や利用調整を行った。 援助会員の発掘や、安全で質の高い援助活動ができるよう、研修等を実施した。(一部自主事業)	○		援助活動回数	45,000回	17,756回	11,297回
				援助会員養成研修実施回数	5回	3回 ※新型コロナの影響で2回中止(参加109人)	4回
				新規登録援助会員数	140人	104人	101人
				援助会員フォローアップ研修実施回数	7回	7回	7回

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績数
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
	※コロナ感染防止に留意し、利用内容に一部制限を設けたが、コロナ禍で働く医療従事者やひとり親、第二子以降の産前産後等、必要性の高い住民が利用できるよう配慮した。	○	○	参加者数	280人	93人	149人
新規登録 利用会員 数				1,000人	1,014人	759人	
会員交流 会 実施回数				4回 ※利用会員・援 助会員各2回	4回	3回 ※利用会員・援 助会員合同開催	
参加者数				200人	44人	46人	
援助会員 発掘事業 実施回数				2回	2回	2回	
参加者数				100人	18人	40人	
○		○	子育て支 援講座 実施回数	2回	1回 ※オンライン開催	1回	
			参加者数	80人	7人	16人	
			事前打ち 合わせ体 験事業 実施回数	5回	5回	1回 ※試行	
			参加者数	30人	29人	6人	
障害者 支援事 業	福祉喫茶 3 店舗の運営を通じ、すきっぷ等と連携し障害者の就労を支援した。	○	○	保護的就 労従事者 数	8人	6人 ※うち1名が年 度中に一般就労 した。	8人 ※うち1名が年 度中に一般就労 した。

(2) 生活自立支援事業

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
生活困 窮者自 立支援 事業	生活困窮者自立支援 生活困窮者の自立生活に向けた相談支援や家計の見直し支援、住居確保給付金、受験生チャレンジ支援貸付金、子どもの学習支援等を行った。 ※住居確保給付金の特例措置 コロナ禍への対応として、要件緩和や支給期間の延長が行われた。	○	○	自立支援 プラン作 成件数	1,000件	1,114件	1,276件
				住居確保 給付金件 数 新規申請 者数	1,280件	1,171件	7,065件
				延長	1,200件	1,259件	4,812件
				再延長	800件	1,206件	3,625件
				再々延長	850件	1,085件	2,383件
				再支給	1,500件	2,529件	131件
				受験生チ ャレンジ 支援貸付 決定件数	760件	365件	394件

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
			○	子ども学習支援 箇所数	5箇所	5箇所	5箇所
				受入人数	75人	77人	99人
	フードバンク事業 生活困窮者への緊急支援として食料を提供した。			支援件数	200件	180件	192件
	フードパントリー事業 地域の団体等と連携して、地域での食の支援に取り組んだ。		○	開設箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
				支援件数	360件	311件	208件
	就労準備支援事業 一般就労に向けて生活習慣の改善やコミュニケーションの向上、体験を通じた社会参加などを行った。		○	実施回数	146回	169回	59回
	ひきこもり状態にある方や家族への支援 ひきこもりについて理解・啓発を目的としたセミナーを開催した。		○	セミナー開催回数	1回	1回	2回
	日常生活支援アドバイザー派遣 ひきこもり状態にある方等に、日常生活支援アドバイザーが訪問して生活習慣の改善や生活技術の取得を支援した。		○	派遣対象者数	30人	8人	7人
	生活保護受給者支援事業 生活保護受給者の家計相談や転宅支援を行う。		○	家計支援及び転宅支援件数	70件	15件	15件
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付(東社協の委託事務) 低所得者や高齢者、障害者の生活の安定と経済的な自立を支えるために、相談支援と資金の貸付を行った。 ※生活福祉資金の特例貸付 コロナ禍で休業や失業等により収入が減少した方に、緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付が行われた。 ※特例貸付は計画数を設定していない。 生活保護受給者の家計相談や転宅支援を行った。		○	福祉資金・教育支援資金新規件数	80件	59件	64件
				総合支援資金新規件数	10件	0件	1件
				特例貸付緊急小口資金貸付件数	-	4,122件	12,325件
				特例貸付総合支援資金(初回)貸付件数	-	4,025件	8,053件
				(延長)貸付件数	-	1,950件	4,909件
				(再貸付)貸付件数	-	5,230件	3,906件

(3) 権利擁護事業

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績	
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数		
あんしん事業	あんしん事業 福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理、書類の預かり等を行った。	○		新規契約件数	40件	63件	44件	
				年度末契約件数	130件	158件	128件	
	あんしん法律相談 高齢者や障害者を対象とした弁護士による無料法律相談を実施した。	○		相談件数	-	43件 (113件)	30件 (108件)	
成年後見制度利用支援事業	成年後見制度利用促進 制度に関する相談支援体制強化や区民成年後見人の確保育成を図る。		○	相談件数	1,550件	1,678件	1,489件	
	区民成年後見人養成 区民成年後見人等となる人材を養成する。			区民後見人養成研修修了者数	11名	8名	8名	
	親族後見人等への支援 親族を候補者とする成年後見の申立や親族後見人への支援を行った。		○	親族が候補者予定の申立支援件数	80件	78件	74件	
				親族後見人継続支援件数	10件	3件	2件	
法人による成年後見事業	区民後見監督 家庭裁判所の選任を受け、区民後見人の監督を行った。			新規受任件数	15件	16件	8件	
				年度末受任件数	72件	60件	65件	
	法人後見 法人として成年後見人に就任し、後見活動を行った。				新規受任件数	25件	17件	27件
					年度末受任件数	105件	102件	99件
	任意後見 本会に成年後見人を依頼したいと希望する高齢者等と任意後見契約を結び、見守り等の支援を行った。				新規契約件数	3件	1件	3件
					年度末契約件数	12件	10件	11件
	老い支度講座 成年後見制度、遺言、相続等について、弁護士による講座を開催した。				開催回数	5回	2回	1回
					参加人数	150人	24人	19人

(4) 法人運営事業

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
組織運営事業	ICT化の推進 法人としての情報セキュリティに関する考え方や利用基準などを明確にし、電子情報の安全で効率的な活用に取り組んだ。SNS等の利活用について審議する会議体を設置し、管理体制を強化した。				-	コロナ禍における非接触型のコミュニケーションツールとしてZOOM Meetings、LINE WORKS、Google workspaceを導入し、区民向け講座の実施や情報発信を行った。	-
	社協会員会費 本会活動のPRを積極的に行い、会費募集を行った。また、コロナ禍で戸別訪問が困難な状況を踏まえ納入方法を工夫した。			会員件数	39,000人	14,745件	6,597件
				会費額	17,600,000円	23,209,782円	17,648,750円

(5) その他

事業名	事業内容等	区負担		項目	令和3年度		令和2年度 事業実績
		補助金	委託料		事業計画数	事業実績数	
福祉活動団体等への支援	赤い羽根募金等 社会福祉施設や福祉団体等の活動を支援した。			団体数	79団体	61団体	77団体
	歳末たすけあい・地域支えあい募金 支援を必要とする世帯への見舞金や入学祝金として配布した。			歳末たすけあい募金額	15,000,000円	24,877,595円	13,364,000円
	災害見舞金 火災・水害等で罹災した住民に対し、生活の一助となるよう災害見舞金を支給した。			件数	-	31件	31件
			金額	-	310,000円	245,000円	

2 決算

法人単位事業活動計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

法人：社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
 事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >			
< 収益 >			
会費収益	23,855,782	18,336,750	5,519,032
寄附金収益	16,118,877	10,915,332	5,203,545
経常経費補助金収益	408,731,501	451,495,787	-42,764,286
受託金収益	829,109,685	738,764,807	90,344,878
事業収益	86,234,996	76,662,674	9,572,322
負担金収益	241,500	226,000	15,500
サービス活動収益計(1)	1,364,292,341	1,296,401,350	67,890,991
< 費用 >			
人件費	969,635,149	929,809,660	39,825,489
事業費	82,300,094	88,038,097	-5,738,003
事務費	164,339,544	166,258,760	-1,919,216
助成金費用	37,762,069	38,063,197	-301,128
減価償却費	14,584,397	11,873,670	2,710,727
国庫補助金等特別積立金取崩額	-37,548	-37,548	0
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	3,039,964	90,387	2,949,577
サービス活動費用計(2)	1,271,623,669	1,234,096,223	37,527,446
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	92,668,672	62,305,127	30,363,545
< サービス活動外増減の部 >			
< 収益 >			
受取利息配当金収益	1,486,391	833,754	652,637
その他のサービス活動外収益	1,032,409	966,758	65,651
サービス活動外収益計(4)	2,518,800	1,800,512	718,288
< 費用 >			
サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,518,800	1,800,512	718,288
経常増減差額(7)=(3)+(6)	95,187,472	64,105,639	31,081,833
< 特別増減の部 >			
< 収益 >			
特別収益計(8)	0	0	0
< 費用 >			
基金組入額	199,691	206,147	-6,456
固定資産売却損・処分損	3,207,994	538,242	2,669,752
特別費用計(9)	3,407,685	744,389	2,663,296
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-3,407,685	-744,389	-2,663,296
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	91,779,787	63,361,250	28,418,537
法人税、住民税及び事業税(12)	1,226,200	0	1,226,200
法人税等調整額(13)	0	0	0
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	90,553,587	63,361,250	27,192,337
< 繰越活動増減差額の部 >			
前期繰越活動増減差額(15)	222,125,207	206,957,120	15,168,087
当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	312,678,794	270,318,370	42,360,424
基本金取崩額(17)	0	0	0
基金取崩額(18)	0	0	0
その他の積立金取崩額(19)	7,870,081	25,271,722	-17,401,641
その他の積立金積立額(20)	84,971,247	73,464,885	11,506,362
次期繰越活動増減差額(21)=(16)+(17)+(18)+(19)-(20)	235,577,628	222,125,207	13,452,421

令和3年度

事業報告・決算書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

社会福祉法人
世田谷区社会福祉協議会

目次

－ 事業報告書 －

令和3年度事業・決算報告（総括）	3
[主要事業報告]	
社会福祉事業区分	
Ⅰ 地域福祉推進事業拠点区分	
1 法人運営事業サービス区分	
(1) 組織運営事業	6
(2) 企画研究・広報事業	7
2 地域福祉事業サービス区分	
(1) 地区社協活動支援事業	8
(2) 地域社協活動事業	10
(3) 地域支えあい活動支援事業	11
(4) 福祉活動団体助成事業	13
(5) 地域福祉人材育成事業	14
(6) 日常生活支援事業	15
(7) 子育て支援事業	17
(8) 障害者支援事業	20
(9) 歳末たすけあい運動事業	21
Ⅱ 生活自立支援事業拠点区分	
1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分	
(1) 生活困窮者自立支援事業	23
(2) 生活福祉資金貸付事務事業	27
2 貸付金等事業サービス区分	
(1) 貸付金等事業	28
Ⅲ 権利擁護事業拠点区分	
1 成年後見推進事業サービス区分	
(1) あんしん事業	28
(2) 成年後見制度利用支援事業	29
(3) 法人による成年後見事業	33
収益事業区分	
Ⅰ 自動販売機設置事業拠点区分	
1 自動販売機設置事業サービス区分	
(1) 自動販売機設置事業	36
別表	37
資料	83

－ 決算書 －

[法人全体]

法人単位資金収支計算書（第1号第1様式）	91
法人単位事業活動計算書（第2号第1様式）	94
法人単位貸借対照表（第3号第1様式）	97
計算書類に対する注記（法人全体用）	100

[事業区分別]

社会福祉事業事業区分 資金収支内訳表（第1号第3様式）	105
社会福祉事業事業区分 事業活動内訳表（第2号第3様式）	107
社会福祉事業事業区分 貸借対照表内訳表（第3号第3様式）	109

[拠点区分別]

地域福祉推進事業拠点区分 資金収支計算書（第1号第4様式）	113
地域福祉推進事業拠点区分 事業活動計算書（第2号第4様式）	117
地域福祉推進事業拠点区分 貸借対照表（第3号第4様式）	121
計算書類に対する注記（地域福祉推進事業拠点区分用）	122

生活自立支援事業拠点区分 資金収支計算書（第1号第4様式）	124
生活自立支援事業拠点区分 事業活動計算書（第2号第4様式）	127
生活自立支援事業拠点区分 貸借対照表（第3号第4様式）	130
計算書類に対する注記（生活自立支援事業拠点区分用）	131

権利擁護事業拠点区分 資金収支計算書（第1号第4様式）	132
権利擁護事業拠点区分 事業活動計算書（第2号第4様式）	135
権利擁護事業拠点区分 貸借対照表（第3号第4様式）	138
計算書類に対する注記（権利擁護事業拠点区分用）	139

自動販売機設置事業拠点区分 資金収支計算書（第1号第4様式）	140
自動販売機設置事業拠点区分 事業活動計算書（第2号第4様式）	141
自動販売機設置事業拠点区分 貸借対照表（第3号第4様式）	143
計算書類に対する注記（自動販売機設置事業拠点区分用）	144

[附属明細書]

寄附金収益明細書（別紙3(②)）	147
補助金事業等収益明細書（別紙3(③)）	148
事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書（別紙3(④)）	149

事業区分間及び拠点区分間貸付金（借入金）残高明細書（別紙3 (⑤)）	150
国庫補助金等特別積立金明細書（別紙3 (⑦)）	151
基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書（別紙3 (⑧)）	152
引当金明細書（別紙3 (⑨)）	155
地域福祉推進事業拠点区分 事業活動明細書（別紙3 (⑩)）	156
生活自立支援事業拠点区分 事業活動明細書（別紙3 (⑪)）	160
積立金・積立資産明細書（別紙3 (⑫)）	163

[財産目録]

財産目録（別紙4）	167
-----------	-----

[監査報告]

監査報告書	171
-------	-----

事業報告書

令和3年度事業・決算報告（総括）

1 コロナ禍への対応

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の大流行が2年目となりましたが、変異株による感染拡大の波が繰り返され、終息が見込めない中、世田谷区社会福祉協議会（以下、本会という）でも、多くの事業や活動を中止・縮小せざるを得ませんでした。

コロナ禍においては、外出や会食等の自粛が広がり、孤独・孤立が問題となりましたが、本会は、地域のつながりが途切れないう、住民の地域福祉活動を支援してまいりました。また、経済活動が制限され、休業や時短、廃業等によって収入が減少する方が増え、生活困窮も大きな社会問題となりました。国が実施してきた経済支援としての生活福祉資金（特別貸付）や住居確保給付金の要件緩和は、令和3年度も延長され、当該業務を担う本会は、制度を必要とする方が円滑に利用できるよう体制を強化し組織を挙げて取り組みました。

令和4年度になっても、コロナ禍への対応は、わが国の最重要課題となっており、本会は、引き続き感染症予防に留意して各事業を実施するとともに、生活に困窮する方への支援に取り組んでまいります。

2 主要事業の進捗状況

（1）地域福祉推進事業

地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）は、住民が集まって行う活動は難しい状況でしたが、ICT^{*1}を活用した支えあいや見守り活動の支援、スマホ講座、地域でのフードドライブ等、コロナ禍における生活支援に取り組みました。

子ども食堂支援事業も、拠点に集まって食事をするのが困難な状況でしたが、団体によるお弁当や食材の配布等の活動を支援するために、食材の提供を増やしたり助成金の増額等を通じて支援を強化しました。

また、令和3年度からの事業である「高齢者の新たな居場所づくり事業『なごみの広場ちとふな』」では、シニア世代が楽しく気軽に参加・交流できる集いの場として、暮らしに役立つ講座等、多彩な取り組みを展開しました。

ふれあいサービスやファミリー・サポート・センター事業のように外出や訪問を伴う事業は、コロナ前の状況にはまだ遠い状況ではありますが、徐々に利用・活動が戻りつつあります。ふれあいサービスは、通院同行やごみ出し等、生活に欠かせない活動を、ファミリー・サポート・センター事業は、医療従事者やひとり親家庭等の子どもの保育園送迎等、活動を限定し必要な援助を継続しました。

福祉喫茶は、休店した期間もありましたが、再開後は席数を減らす等、感染防止対策を行いました。休店が長引くことから、障害のある従事者の生活のリズムや仕事の経験を確保するため接客等の研修を行いました。

社協会員会費や歳末たすけあい・地域支えあい募金は、昨年度に比べて活動が徐々に再開されたこと等により増加しました。社協会員会費は、特別会員や法人会員には、払込取扱票をお送りして協力をお願いしました。また、歳末たすけあい・地域支えあい募金は、経済的な支援を必要とする世帯を中心にお見舞金をお配りしました。

*1 Information and Communication Technology（情報通信技術）の略

(2) 生活自立支援事業

コロナ禍で生活に困窮する方を対象とした、生活福祉資金（特例貸付）や住居確保給付金の要件緩和については、令和3年度も申請期限の延長が繰り返され、令和4年8月末日まで延長されました。

本会は、生活福祉資金（特例貸付）では、申請を郵送で受け付ける等の工夫や各地域事務所でも受付を行う等、組織を挙げて取り組み、生活福祉資金（特例貸付）と住居確保給付金とも都内の社会福祉協議会で最多の申請受付数となりました。

コロナ禍が長引く中で、窓口や電話で生活困窮に関する深刻な相談も増えました。相談内容により、区的生活保護等の相談窓口につなぐとともに、本部・ぷらっとホーム世田谷、各地域事務所が連携して、食の支援や生理用品の配布にも取り組みました。

また、ひきこもりの方への支援に取り組んでおり、令和3年度も、本多劇場の協力を得て、ひきこもりの方が作成したシナリオを演劇として発表し、動画配信を行いました。

令和4年4月、「世田谷ひきこもり相談窓口『リンク』」開設に伴い、ぷらっとホーム世田谷及び分室は三軒茶屋駅近くに移転し、職員体制を強化するとともに、世田谷区や関係機関（メルクマールせたがや、せたがや若者サポートステーション）と協働し、ひきこもりの方とその家族への支援を行っています。

(3) 権利擁護事業

成年後見センターも、コロナ禍による影響を受けて、区民成年後見人養成研修や成年後見セミナー、老い支度講座等は、中止や縮小せざるを得ませんでした。可能な範囲でオンラインによる方法を取り入れて実施しました。

成年後見センターでは、「成年後見センター新5カ年計画」に基づいて、法人後見や任意後見、区民後見監督、あんしん事業等に取り組んできましたが、令和3年度は、計画の進捗状況を評価・分析し、計画数値の見直しを行いました。

令和3年度から、成年後見センターは世田谷区における中核機関に位置づけられ、親族後見を行う方への支援や関係機関等が集う地域連携ネットワーク会議を開催する等成年後見制度を必要とする方が円滑に制度につながるよう取り組んでいます。

3 世田谷区社会福祉協議会経営改革（以下、社協改革という）の進捗状況

本会では、平成30年度から組織を挙げて社協改革（①財政の健全化、②事業・組織の見直し、③人材育成を3本の柱とする）に取り組んでいます。

令和4年度は、計画期間の最終年度となりますので、各取組を総括して今後の運営に活かしてまいります。

(1) 財政の健全化

令和元年度に会計システム、令和2年度に勤怠管理システムを導入し、事業の執行状況の見える化を図るとともに、事務の効率化に努めてまいりました。

また、令和3年度に、「財政健全化計画」の進捗状況と中期財政見通しの検証を行いました。平成30年度の計画策定以来、黒字決算となり、積立金も増加しています。

令和4年度には、総括を行うとともに、令和5年度以降の中期財政見通しを立て、引き続き、健全な財政運営に努めてまいります。

(2) 事業・組織の見直し

令和3年度に、新たに連携推進課を設置し、社協内連携の推進による効果的・効率的な事業運営を図るとともに、企画機能を強化し中期事業計画でパイロット的な事業として取り上げた食支援の拡充、ICT^{※1}化の推進に取り組みました。食支援の拡充では、区内の社会福祉法人と協働し、相談支援型フードパントリーを試行実施しました。また、食に関する支援情報をまとめたフードシェアウェブサイト「せたべる」を開発する等、食の支援の基盤整備に取り組みました。

ICT^{※1}化の推進は、事務事業の効率化だけでなく、コロナ禍において非接触により人と人をつなぐ重要な手法となり、積極的な活用に取り組みました。

また、社協改革の一環として平成30年度に行った、あんしん事業及びファミリー・サポート・センター事業の地域展開について令和3年度より検証作業を進めており、今後の組織体制に反映すべく検証結果をまとめてまいります。

(3) 人材育成

職員の相談支援や地域づくりの専門性を向上させるために、平成29年度からコミュニティソーシャルワーク研修を実施しています。

世田谷区や東京都社会福祉協議会の実施する職層研修や専門研修への参加も予定していましたが、コロナ禍により受講機会が失われたものもありました。オンライン開催による研修も増えており、こうした環境整備を進めています。

4 決算状況

令和3年度決算としては、資金収支計算書（資金の増減を表します。）に基づく当期資金収支差額合計は16,858千円、事業活動計算書（収益から、かかった費用の金額を差し引き、差額がいくら出たかを表します。）に基づく当期活動増減差額は90,554千円となりました。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、一部事業の中止・縮小はあったものの、令和2年度に比べて徐々に活動も再開され、会員会費収入（収益）や事業収入（収益）は増加しました。また、引き続き生活に不安を抱える方への支援の必要性は高く、世田谷区からの生活困窮者自立支援事業や東京都社会福祉協議会からの生活福祉資金（特例貸付）の受託金の増等もあり、令和2年度に続いて黒字決算となりました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の終息が不透明なこともありますが、本会の使命を職員一同しっかり認識し、今後も社協改革の進捗管理を怠ることなく、財政収支のバランスを図ってまいります。

そのためにも、今後も職員の専門性の向上を図りながら住民の地域生活を支える事業を強化し、世田谷区において地域福祉を推進する、という本会の役割をしっかりと果たせるよう組織一丸となって取り組んでまいります。

■主要事業報告

社会福祉事業区分

Ⅰ 地域福祉推進事業拠点区分

※表記について

・今年度より、計画数と実績数を併記している。
 ・記載にあたっては、元々計画があるものについては計画数値と実績数値を併記し、計画のないものについては、実績数値のみを記載している。
 なお、実績の詳細は、参考として表を追加している。

1 法人運営事業サービス区分

(1) 組織運営事業

新型コロナウイルス感染症の影響（以下、コロナ禍という）により、理事会・評議員会は各2回、決議の省略を行った。

世田谷区が実施する監査が2度行われたが、いずれも大きな問題点は指摘されなかった。

苦情対応では、新たな委員による苦情解決委員会を開催し苦情案件の審議を行った。

社協会員会費は、コロナ禍以前と比較すると大きく減少しており、払込取扱票により納入をお願いする等の工夫を行った。

① 理事会、評議員会等

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
理事会開催回数	4回	3回	4回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	1回	必要に応じて	1回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
理事会開催回数	4回	3回	4回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	1回	0回	1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、理事会、評議員会とも2回は決議の省略

※詳細は、別表1参照

①-1 追記

監査

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
監事監査(会計士監査含む)	6回	6回	6回
財政援助団体監査(区・監査委員)	1回	0回	1回
社会福祉法人指導監査(区・保健福祉政策部)	1回	0回	0回

※監査の実施について、令和3年度事業報告より明記

② 職員研修

「人材育成計画」に基づき、年間計画を策定して、①基本研修、②職層研修、③専門研修を実施した。社内研修とともに、世田谷区や東京都社会福祉協議会（以下、東社協という）等が実施する研修を活用したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部、開催中止やオンライン開催に変更されたものがあった。

○基本研修

社協職員として仕事を進めるうえで必要とする事項(法制度、定款及び規程、事案決定、財務・経理、文書等)の知識習得を図った。また、年度後半には、各所属の内部点検(契約、会

計、事案決定等)を実施した後、事務の適正化に向けて振り返りの研修を実施した。

○職層研修

職層研修は参加を必須とするものが多い。コロナ禍であったが、外部機関(世田谷区、東社協)の研修も概ね予定通り実施され、職員の参加率も高かった。

○専門研修

外部機関の実施する研修では、コロナ禍により、一部の研修は中止やオンライン開催への変更があった。社内で専門研修として実施しているコミュニティソーシャルワーク研修(以下、CSW研修という)は、オンラインにより「社協内連携」をテーマに事例検討と発表を行い、学識経験者からの指導を受けた。

③ 苦情解決委員会(旧:サービス向上委員会)

令和2年度にサービス向上委員会と権利擁護推進委員会を統合し、苦情対応の仕組みを分かりやすいものにした。新たな委員会として開催した苦情解決委員会では、令和2年度、令和3年度の苦情案件を審議した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
苦情件数	2件	3件	13件

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度は委員会を開催しなかった。

※令和2年度・令和3年度は苦情件数が少なかったが、苦情と捉えるか判断が難しい案件もあった。令和4年度には苦情受付や対応に関する研修を実施するとともに、苦情対応マニュアルを策定する。

④ 世田谷区社会福祉協議会会員会費募集

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度に引き続いて戸別訪問を原則中止とした。会員会費を確保するため、強化月間は設けずに年間を通して募集を行った。また、特別会員や法人会員には振込取扱票をお送りする等納入方法を工夫した。

(一般会員:一口300円以上5,000円未満、特別会員:一口5,000円以上、法人会員:一口5,000円以上)

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
会員数	39,000人	42,000人	45,500人
会費額	17,600,000円	41,015,000円	41,454,000円
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
会員数	14,745人	6,597人	39,995人
会費額	23,209,782円	17,648,750円	40,016,079円

※詳細は、別表2参照

⑤ ICT化の推進に向けた取り組み

コロナ禍における非接触型のコミュニケーションツールとして、Zoom MeetingsやLINE WORKS(ラインワークス)、Google Workspace(グーグルワークスペース)を導入し、区民向け講座の実施や情報発信を行った。ツールの利活用にあたっては、社内規程を整備するとともに、導入の可否等を審議する会議体を設置して管理体制を強化した。

(2) 企画研究・広報事業

地域福祉中期事業計画(3ヵ年計画)の2年度目として、長引くコロナ禍による生活課題の解決

に向け、「食支援の拡充」「ICT化の推進」「高齢者の新たな居場所づくり事業」を重点事業に位置付け取り組んだ。

① 企画研究

コロナ禍により住民の抱えている生活状況や課題が急激に変化する中で、適切に事業計画の進捗管理を行うための評価制度の在り方を検討するため、事業評価検討委員会および作業部会を立上げて課題整理を行った。

② 広報活動

世田谷区社協ニュースは、生活福祉資金（特例貸付）をはじめ、コロナ禍の社協の取り組みをわかりやすく住民に伝えられるよう冊子にして関係者に配布した。

食支援の拡充に向け、インターネットを活用して食支援に関する情報収集と情報発信を効果的且つ効率的に行うため、フードシェアウェブサイト「せたべる」を開発した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
世田谷区社協ニュースの発行	1回	1回	1回
ホームページアクセス数	963,474件	1,066,386件	549,293件
Facebook投稿数	343件	471件	226件
エフエム世田谷放送件数※	8件	17件	46件
地域社協だよりの発行	2回	2回	2回

※地域活動の休止等による取材件数の減少のため減となった。

2 地域福祉事業サービス区分

(1) 地区社協活動支援事業

コロナ禍における地区社会福祉協議会（29地区）の活動のあり方を検討するとともに、各地区の取り組みを支援した。

各地区で取り組んでいる地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）では、社協内外の連携を強化し、住民の生活課題の把握や地域づくりに向けた支援に積極的に取り組んだ。

また、地域活動の担い手である地区サポーターを確保するとともに、大規模な災害時に安否確認等の活動に参加する「災害福祉サポーター」への登録も促進した。

① 地区社会福祉協議会の運営支援

コロナ禍により事業の中止が相次いだが、住民相互の見守りや支えあいが途切れないよう、各地区の住民主体の活動を支援した。また、コロナ禍の中、つながるための新たなツールとしてICTの活用を促進した。

※詳細は、別表3参照

② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】

- 各地区で取り組んでいる、買物支援や居場所づくり等の活動については、コロナ禍を踏まえて参加者数や内容を工夫して実施した。
- コロナ禍により顕在化した生活困窮の問題に対して、地域・地区でのフードドライブの実施等、新たな取り組みを行った。
- コロナ禍により集合型の事業が困難となる中、住民相互のつながりが途切れないよう、

多くの地区で高齢者向けのスマホ講座を実施した。

- 全常勤職員を対象とした CSW 研修を実施し、個別支援と地域づくりを一体的に行うコミュニティソーシャルワークに関する職員の専門性向上に努めた。

＜CSW 研修＞全常勤職員を対象とした。

- 第1回 6月 7日(月) オンライン開催 参加者 49人
- 第2回 10月 22日(金) オンライン開催 参加者 43人
- 第3回 1月 7日(金) オンライン開催 参加者 60人

※各回とも講師は菱沼幹男氏（日本社会事業大学准教授）に依頼した。

＜地域別職員研修＞地域社協事務所別に菱沼講師によるアウトリーチ方式で実施した。

5月17日・24日、10月11日、12月20日 参加者計61人

＜報告会＞

- ・CSW 研修の実践報告会「コロナ禍における社協の取り組み」では、コロナ禍での困難課題を抱えた世帯への支援や地域・地区での食支援の取り組み等を報告した。なお、報告会は一般の入場は行わず、会場で収録した録画を配信した。

※詳細は、別表4参照

③ 災害福祉サポーターの活動支援（災害対策事業）

大規模災害時における避難行動要支援者の安否確認や避難支援、ニーズ把握等を担う災害福祉サポーターの登録者の拡大に努めた。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
災害福祉サポーター登録人数	259人	213人	177人

※ふれあいサービス利用会員と災害福祉サポーターによる事前マッチングと顔合わせを行い、メールによる安否確認訓練を実施した。

④ 社会福祉法人等のネットワーク推進事業

- 「世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会」において、コロナ禍で拡大する生活困窮への支援策として、「食支援」「就労支援」の実施に向けた検討を行った。
- 生活福祉資金（特例貸付）を利用した高齢者を対象として、生活状況の把握や支援へのつなぎを目的とした相談支援型フードパントリーを社会福祉法人等と連携して実施した。

＜相談支援型フードパントリー＞

- ・配付時期：令和3年12月3日から12月8日
- ・配付会場：23か所（社福法人15か所/区2か所/株式会社1か所/地域社協事務所5か所）
- ・配付対象：381世帯（生活福祉資金特例貸付再貸付を利用した70歳以上の方）
- ・配付内容：米5kg、レトルト食品等（米5kg×500袋 パルシステム東京より寄贈）
- ・配付実績：173世帯（うち配達29世帯）
- ※相談を希望した43世帯にはぶらっとホーム世田谷から電話
- ・保管拠点：1法人（友愛十字会）
- ・運搬対応：5法人（杉の子保育会/はる/青少年と共に歩む会/古木会/大三島育徳会）

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
参加法人数	36法人	36法人	36法人
企画委員会	1回	-	2回
全体協議会	1回	1回	1回
5地域別連絡会	10回	-	3回

⑤ 生活サポート NPO 等協議会

- 世田谷区内の生活支援に関連する NPO 団体等による協議会の事務局を担い、参加団体のネットワークの強化を図るとともに、生活支援に関するニーズや課題の把握に努めた。
- 当事者を講師として招き、ひきこもりの方の支援や支援が届きにくい方のサポートに関する勉強会を実施した。
- 協議会参加団体や生活支援コーディネーター（社協地区担当職員）にアンケートを実施し、生活支援に関する課題の把握や課題解決に向けた取り組みを協議した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
全体会	1回	1回	1回
幹事会・役員会他	6回	21回	6回
勉強会(木曜勉強会)	4回	5回	5回

⑥ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな」） 【区受託】

シニア世代が楽しみながら気軽に参加・交流できる新たな居場所として、千歳温水プール4階健康運動室において、スマホ講座やお薬相談会、囲碁、ハンドマッサージ等多様な講座を企画・実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	48回	-	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
講座回数	48回	-	-

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総参加者数	568人	-	-
地区サポーター人数	延べ48人	-	-

※詳細は、別表5参照

(2) 地域社協活動事業

地域活動を推進するため、関係団体と情報の共有や意見交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に行われるよう支援を行った。

① 地域社協福祉推進協議会の運営支援

地区社会福祉協議会活動等に関する情報の共有と意見交換を行い、地域・地区における福祉活動の推進に取り組んだ。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	15回	15回	15回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	15回	15回	10回

※コロナ禍を踏まえ、会長会のみで開催や書面開催で行われたものもあった。

② 地域・地区における交流・啓発

ア サロンリーダー交流会等の開催

地域における住民相互のゆるやかな見守りや集いの場の拡充のため、サロンリーダー交

流会等を開催した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
サロンリーダー等交流会	3回	15回	12回
拠点連絡会・交流会	5回	6回	18回

※詳細は、別表6参照

イ 高齢者クラブの活動支援

高齢者クラブの活動や取り組みに対する支援を行った。なお、地域で開催されていた高齢者福祉大会は、コロナ禍により中止となった。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
高齢者福祉大会	0回	2回	3回

③ 災害見舞金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の罹災時の援助を目的として見舞金を支給した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
件数	31件	31件	337件
金額	310,000円	245,000円	1,800,000円

※令和元年度は台風19号による多摩川の氾濫等により災害見舞金件数が増大した。

(3) 地域支えあい活動支援事業

ふれあい・いきいきサロン（子育てサロンを含む）・支えあいミニデイ、子ども食堂等住民主体の支えあい活動の運営支援に取り組んだ。また、世田谷区と連携して、各家庭から提供された食材を子ども食堂等に配布した。

① 地域支えあい活動グループの支援

○ふれあい・いきいきサロンや支えあいミニデイの立上げと運営を支援し、高齢者や障害者、子育て中の方々が、地域で気軽に集える支えあいの場づくりに取り組んだ。

○コロナ禍でも、地域でのつながりが途切れないようスマホ講座等を開催した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
団体数 合計	728団体	771団体	751団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	660団体 (92団体)	690団体 (100団体)	670団体 (100団体)
支えあいミニデイ数	68団体	81団体	81団体
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
団体数 合計	685団体	704団体	743団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	622団体 (86団体)	637団体 (88団体)	673団体 (95団体)
支えあいミニデイ数	63団体	67団体	70団体

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
延参加者数	85,849人	61,040人	203,282人
延ボランティア数	22,517人	15,667人	42,210人

② 子ども食堂運営支援

子ども食堂に対し、食材費や保険料の助成を行うとともに、世田谷区や事業者等から寄付された食材の提供を行った。また、子ども食堂団体連絡会を開催し、衛生管理や感染予防に関する研修と情報交換を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
運営助成金交付団体数	35 団体	33 団体	25 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	35 団体	-	-
支えあい活動保険利用団体数	40 団体	39 団体	35 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	38 団体	33 団体	35 団体
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
運営助成金交付団体数	35 団体	26 団体	25 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	30 団体	-	-
支えあい活動保険利用団体数	41 団体	39 団体	35 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	36 団体	33 団体	35 団体

<子ども食堂団体連絡会>

第1回 5月13日(木) ※オンライン開催

テーマ

- 「子ども食堂において衛生管理上、気を付ける点」
- 「HASSAP に沿った衛生管理について」

【講師】世田谷保健所職員

○参加団体数(参加者数):23 団体(39 人)

第2回 10月14日(木) ※オンライン開催

テーマ

- 子どもの虐待の未然防止・早期発見について～児童虐待の理解と予防～

【講師】世田谷区子ども・若者部児童相談支援課職員

○参加団体数(参加者数):25 団体(32 人)

第3回<地域別開催>

※テーマ・内容は各回共通

- 「支援を必要としているお子さんの相談及び専門機関等へのつなぎについて」

【講師】各子ども家庭支援センター職員

- 「懇談」

○地域別開催状況

地域	開催日	会場	参加団体数
世田谷	11月8日	上町まちづくりセンター活動フロア	7 団体
北沢	11月22日	北沢まちづくりセンター活動フロア	2 団体
玉川	12月8日	等々力まちづくりセンター活動フロア	5 団体
砧	11月18日	世田谷区社会福祉協議会本部3階研修室	3 団体
烏山	11月19日	上北沢まちづくりセンター活動フロア	6 団体

③ 地域支えあい活動拠点管理

地域支えあい活動グループをはじめ地域活動団体の利用に資するため、地域支えあい活動拠点(22ヶ所)の管理を行った。

④ せたがやフードドライブ事業

世田谷区と連携し、世田谷区から提供された食材(米、缶詰類、乾麺、調味料等)を子ども食堂等に配布した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
配布実績(総量)	6483.0 kg	2748.5 kg	1226.95kg

⑤ メール SOS ネットワーク (旧:せたがやはいかい SOS ネットワーク)

認知症状のある高齢者等が行方不明になったとき、登録した協力者にメールを送信し、早期発見や事故防止につなげる取り組みを進めた。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
協力者数	680人	650人	600人
利用登録者数	90人	75人	75人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
協力者数 (新規登録人数)	611人 (5人)	606人 (20人)	585人 (25人)
利用登録者数	94人	86人	75人

※徘徊(はいかい)という言葉を使用しない方が良いと判断し、令和3年度に事業名を変更

⑥ 地域福祉推進大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に続いて中止とした。

(4) 福祉活動団体助成事業

赤い羽根共同募金を活用し、地域福祉活動団体への助成を行った。また、世田谷区民生委員・児童委員協議会の活動を支援した。

① 地域福祉活動団体助成事業

地域福祉活動団体への各種助成金の交付を通じて、地域福祉活動の拡充や本会とのネットワークの強化に取り組んだ。

ア 社会福祉活動団体助成金の交付

世田谷区内において全区的な福祉活動に取り組む団体に、事業活動の経費の一部を助成した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
助成団体数	11団体	13団体	11団体
助成金額	3,400,000円	3,570,000円	3,280,000円
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
助成団体数	10団体	8団体	11団体
助成金額	3,210,000円	2,810,000円	3,280,000円

イ 赤い羽根共同募金地域配分金(B配分)の配分推せん

世田谷区内で集められた赤い羽根共同募金(主催:社会福祉法人東京都共同募金会)を財源として、社会福祉法人や地域福祉活動を行う小規模団体・NPO法人に助成を行った。

コロナ禍により、募金額が大幅に減少するとともに団体の活動も縮小したことにより、助成金額は計画を大きく下回った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
助成団体数	79 団体	77 団体	79 団体
助成金額	20,863,000 円	20,863,000 円	20,678,000 円
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
助成団体数 (決定)	61 団体	77 団体	79 団体
助成金額	5,730,000 円	20,863,000 円	20,678,000 円

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
助成団体数 (決定)	61 団体	77 団体	79 団体
社会福祉施設	23 団体	30 団体	32 団体
地域福祉活動団体	38 団体	47 団体	47 団体
配分推せん委員会の開催	2 回	2 回	2 回

② 民生委員・児童委員との連携及び活動支援

民生委員・児童委員と連携して、生活福祉資金の貸付や歳末たすけあい・地域支えあい活動募金に取り組むとともに、民生委員・児童委員協議会の研修等の活動を支援した。

(5) 地域福祉人材育成事業

地域住民等に対し地区サポーターへの登録を広く呼びかけ、地域福祉活動の新たな人材確保に取り組んだ。

また、地域・地区を基盤に人材の確保と育成を目指した講座を開催するとともに、学校での体験型の福祉学習の開催や福祉用具の貸し出しを行い、福祉への理解醸成に努めた。

① 地区サポーター

地域活動に興味のある方を地区サポーターとして登録し、地域支えあい活動や町会・自治会活動、福祉イベント、生活支援サービス等へのマッチングを行い、住民の地域活動への参加を促進した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	1,500 人	1,500 人	900 人
マッチング件数	-	-	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	1,393 人	1,223 人	1,120 人
マッチング件数	362 件	263 件	784 件

※詳細は、別表7参照

② 地区活動入門講座

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	5 回	5 回	5 回
参加人数	延 200 人	延 200 人	延 200 人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	7 回	2 回	-
参加人数	延 70 人	延 23 人	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一回当たりの参加者数を減らした。

③ 特技ボランティア

地域支えあい活動等の支援の一環として、特技や趣味を持つ住民を特技ボランティアとして登録し、活動の拡充や住民の地域活動への参加を促進した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	220人	220人	210人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録者数	172人	158人	229人

④ 福祉学習

地域福祉推進員や地区サポーター等とともに、区内小・中学校での授業や地区イベント等の機会を捉え、体験型の福祉学習や福祉団体等との連携による当事者講話等を通じて、地域福祉に関する理解・啓発に取り組んだ。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
福祉学習実施回数	75回	75回	75回
福祉学習参加者数	6,500人	6,500人	6,000人
福祉用具貸出件数	15件	20件	20件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
福祉学習実施回数	45回	44回	98回
福祉学習参加者数	4,019人	4,341人	8,749人
福祉用具貸出件数	7件	5件	15件

⑤ ボランティア保険事務【東社協受託】

ボランティア活動や福祉イベント・事業等の拡充に向け、ボランティア保険やボランティア行事保険の加入手続を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア保険	13,500人	20,100人	20,000人
ボランティア活動行事保険	600件	1,400件	1,310件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア保険	8,044人	11,951人	19,579人
ボランティア活動行事保険	905件	612件	1,706件

(参考) ボランティア活動行事保険の内訳

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
行事保険	755件	590件	1,582件
当日参加対応型行事保険	150件	22件	124件

(6) 日常生活支援事業

コロナ禍により、ふれあいサービス(自主事業)と支えあいサービス(区受託事業)は、利用会員、援助会員の安全に十分配慮を行いながら実施したが、ふれあいサービスについては、緊急性の高いケースを除き新規登録は休止せざるを得ない期間が生じた。

高齢者の不安解消事業は、コロナ禍を踏まえてコンパクトな講演会を企画したが、感染拡大により実施には至らなかった。

① ふれあいサービス

高齢や障害、産前産後等で日常生活に支援が必要な世帯に対し、近隣の住民による家事や外出支援等の生活支援サービスを行った。サービス利用のコーディネータは、地区事務局担当者が行っている。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員数	—	—	—
(うち新規利用登録数)	—	—	—
協力会員数	650人	650人	850人
(うち新規協力登録数)	(180人)	(120人)	(180人)
派遣回数	—	—	—
派遣時間数	18,000時間	21,000時間	22,200時間
登録説明会回数	— ^{※2}	— ^{※2}	12回
フォローアップ研修回数	2回	2回	2回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員数	529人	681人	1,360人
(うち新規利用登録数)	(165人)	(177人)	(193人)
協力会員数	576人	540人	673人
(うち新規協力登録数)	(104人)	(84人)	(140人)
派遣回数	11,541回	10,798回	12,679回
派遣時間数	16,242.5時間	15,394.0時間	20,108.5時間
登録説明会回数	— ^{※2}	— ^{※2}	10回
フォローアップ研修回数	0回	0回	1回

※利用会員数の計画数値化は、令和4年度より実施

※緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間(9月間)は、安全を考慮し両会員の新規登録を休止

※令和2年度より、利用休止中の方には生活支援サービスの情報提供をし、登録数から除外

※²協力会員登録説明会は、令和2年度から廃止し、随時窓口での説明・登録に切替

(参考)

利用回数および利用時間

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
延利用回数	11,541回	10,798回	12,679回
家事支援	9,998回	9,531回	11,318回
生活支援	197回	204回	283回
外出支援	1,188回	963回	836回
その他(大掃除等継続ケース)	158回	100回	242回
延利用時間	16,242.5時間	15,394.0時間	20,108.5時間
家事支援	13,924.0時間	13,380.5時間	17,108.5時間
生活支援	313.5時間	285.5時間	479.0時間
外出支援	1,670.5時間	1,471.5時間	1,938.0時間
その他(大掃除等継続ケース)	334.5時間	256.5時間	583.0時間

② 支えあいサービス(介護予防・日常生活支援総合事業生活支援サービス)【区受託】

介護保険制度の要支援者等に対し、介護予防や自立支援に資する家事援助サービスを健康状態や生活状況に留意して提供した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数	60人	40人	65人
協力者数	320人	270人	250人
派遣回数	2,927回	2,881回	2,340回
派遣時間数	—	—	—
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数	63人	58人	47人
協力者数	323人	282人	242人
派遣回数	2,877回	2,374回	2,044回
派遣時間数	1,438.5時間	1,187.0時間	1,022.0時間

(参考)

実績		令和3年度	令和2年度	令和元年度
研修	実施回数	6回	6回	6回
	参加者数	135人	209人	228人
協力者登録	登録数	323人	282人	242人
	うち新規登録数	54人	51人	38人
利用者登録	訪問数	15人	17人	16人
	登録数	63人	58人	47人
	うち新規申込数	16人	17人	17人
サービス実施	実施者数	延613人	延499人	延452人
	実施件数	延2,877件	延2,374件	延2,044件

※令和元年度・令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定7回のところ1回中止(5月)し6回の実施とした。

③ 高齢者の不安解消事業

高齢者の終活や死後事務に関する手続きやサービスについて、相談や情報提供の機会として終活相談会を企画した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
終活相談会実施回数	2回	2回	2回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
終活相談会実施回数	0回*	1回	1回

* 終活相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止

(7) 子育て支援事業

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、感染防止に留意して利用や活動に一部制限を設けたが、コロナ禍で働くエッセンシャルワーカーやひとり親等の必要性の高い住民が利用できるよう配慮した。

本事業では、コロナ禍への対応と区民の利便性向上を目的に、10月に利用会員登録希望の申込みをオンラインで行える専用サイトを開設した。

本事業や子育てに関する研修や講座を企画したが、コロナ禍により参加者数は計画を下回った。

① 世田谷区ファミリー・サポート・センター事業【区受託】

子育ての手助けが必要な方（利用会員）と手助けができる方（援助会員）が、身近な地域で短時間の預かりや送迎等、子育ての相互援助ができるよう、会員登録や相談受付、サービスの利用調整を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員数	10,000人	10,300人	9,500人
（うち新規登録利用会員数）	(1,000人)	(1,000人)	(2,000人)
援助会員数	1,120人	1,150人	1,150人
（うち新規登録援助会員数）	(140人)	(150人)	(240人)
利用（援助活動）回数	45,000回	45,000回	47,000回
利用（援助活動）時間数	-	-	-
紹介件数	1,000件	2,000件	2,500件
アウトリーチ回数	-	-	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員数	4,101人	9,505人	9,787人
（うち新規登録利用会員数）	(1,014人)	(759人)	(2,196人)
援助会員数	886人	1,078人	1,098人
（うち新規登録援助会員数）	(104人)	(101人)	(161人)
利用（援助活動）回数	17,756回	11,297回	43,299回
利用（援助活動）時間数	24,538.5時間	15,538時間	72,849時間
紹介件数	1,062件	647件	2,287件
アウトリーチ回数	224回 ^{※1}	-	-

※1 アウトリーチ回数は、令和3年6月以降の実績

※利用会員は、新規登録数は前年度より増加したが、令和4年度への登録継続希望の確認が取れない会員の登録を年度末で一旦廃止し整理した結果、前年度数から大幅に減少

② 人材育成

ア 子育て支援者養成研修【区受託】

子育ての援助に必要な知識等を身につけ、安全で質の高い活動ができるように研修（受講時間は25時間）を実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	5回(延35日)	5回(延35日)	5回(延35日)
参加者数	360人	340人	340人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	3回(延22日)	4回(延28日)	5回(延35日)
参加者数	109人	102人	172人

※緊急事態宣言発令等により、第1回と第3回は中止

イ 援助会員フォローアップ研修（a）及びフォローアップ専門研修（b）【区受託】

a 子どもの発達障害の状況と、援助者に必要な知識と対応について学んだ。

b 5年に一度の受講が必須となった「救急救命講習及び事故防止」の研修を実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
a 実施回数	1回	6回	5回
a 参加者数	40人	50人	250人
b 実施回数	6回	5回	-
b 参加者数	240人	200人	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
a 実施回数	1回	1回	4回
a 参加者数	24人	23人	56人
b 実施回数	6回	5回	-
b 参加者数	69人	126人	-

③ 会員交流会【区受託】

利用会員交流会は子どもと一緒に参加できる事業を企画し、会員同士の交流を図った（オンライン開催）。援助会員交流会は会員同士の懇談と意見交換を実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員交流会実施回数	2回	3回	3回
参加者数	100人	150人	150人
援助会員交流会実施回数	2回	(利用会員交流会 と合同開催)	(利用会員交流会 と合同開催)
参加者数	100人		
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用会員交流会実施回数	2回	3回	3回
参加者数	19人	46人	52人
援助会員交流会実施回数	2回	(利用会員交流会 と合同開催)	(利用会員交流会 と合同開催)
参加者数	25人		

※令和2年度まで利用会員・援助会員合同の交流会として開催したが、会員の希望や意見を鑑み、利用会員、援助会員それぞれの交流会として実施

④ 住民向け講座等

ア 援助会員発掘事業【区受託】

子育てに関心のある人に対し、身近なもので作れる簡単おもちゃの製作を通じて、子育て支援者養成研修を案内し、うち2人が同研修を受講し、援助会員として登録した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	100人	100人	100人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	18人	40人	50人

イ 子育て支援講座

区内の子育て支援団体スタッフや援助会員に対し、区内の児童虐待の状況を知るとともに、地域住民として何ができるかをともに考える研修を開催した（オンライン開催）。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	80人	80人	80人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	1回	1回	2回
参加者数	7人	13人	16人

※令和2年度・令和3年度はオンライン開催

ウ 「事前打ち合わせ」体験事業（利用促進事業）

ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがない会員に対し、「事前打ち合わせ」の模擬体験を通じて、サービス利用への不安を軽減し、本事業の利用促進を図った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	5回	-	-
参加者数（利用会員）	22組	-	-
参加者数（援助会員）	30人	-	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施回数	5回	1回	-
参加者数（利用会員）	18組	6組	-
参加者数（援助会員）	29人	6人	-

※令和2年度の試行実施を踏まえ、5地域で1回ずつ計5回実施

（8）障害者支援事業

福祉喫茶（3店舗）の運営を通して、障害者に働く場の提供と就労支援を行い、1人が一般就労した。コロナ禍により休店期間が生じたが、その間、従事者（障害のある職員）には接客や面接等の研修を実施した。

① 福祉喫茶の運営

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
就労支援数	8人	10人	10人
来客者数	16,500人	27,000人	27,000人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
就労支援数 （うち一般就労移行者数）	6人 （1人）	8人 （1人）	8人
来客者数	20,086人	11,647人	24,828人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5月3店舗休店した。

※座席間隔確保のため、座席数を減じて営業、食事中以外はマスク着用を依頼した。

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
援助者数(店長含む)	25人	22人	25人
来客者数 内訳			
喫茶YOU・遊 (松沢まちづくりセンター内)	3,180人	2,419人	5,543人
喫茶桜ん房 (砧図書館内)	3,454人	2,574人	5,223人
喫茶どんぐり (世田谷文学館内)	13,452人	6,654人	14,062人
来客数合計	20,086人	11,647人	24,828人

② 研修(店長・援助者・従事者)

従事者を対象に一般就労に向けた接客や就労面接対策等の研修を行うとともに、店長や援助者に対し、外部講師を招き、障害者の理解や企業による雇用事例等、支援に必要な知識や技能についてのオンライン研修を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
従事者研修回数	3回	3回	3回
店長・援助者研修回数	6回	6回	6回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
従事者研修回数	3回	8回	2回
店長・援助者研修回数	7回	5回	2回

(9) 歳末たすけあい運動事業

共同募金の一環として、町会総連合会、民生委員・児童委員協議会、赤十字奉仕団等関係団体の協力により募金活動を行った。募金は、支援を必要とする世帯へのお見舞金及び同世帯の小・中・高校入学お祝い金その他、地域福祉活動費として社協の各種事業に活用した。

① 歳末たすけあい・地域支えあい募金

ア 募金総額および使途内訳

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
募金額	15,000,000円	42,000,000円	44,000,000円
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
募金額	24,877,595円	13,364,308円	41,934,566円

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
見舞金件数	272件	248件	1,488件
金額 a	1,726,000円	1,539,000円	7,743,000円
(うち支援を必要とする世帯)	(266件) (1,636,000円)	(241件) (1,434,000円)	(261件) (1,578,000円)
(うち支援を必要とする世帯 小中学校入学祝)	(6件) (90,000円)	(7件) (105,000円)	(3件) (45,000円)
(うち在宅要介護高齢者介護者) ^{※1}	(0件) (0円)	(0件) (0円)	(840件) (4,200,000円)
(うち在宅重度障害者(児)介護者) ^{※1}	(0件) (0円)	(0件) (0円)	(384件) (1,920,000円)
地域福祉活動費 ^{※b}	22,253,534円	11,174,233円	33,391,612円
事務費 c	898,061円	651,075円	799,954円
金額合計(a+b+c)	24,877,595円	13,364,308円	41,934,566円

※1 令和2年度・令和3年度は、コロナ禍により募金額が少なかったため、配布対象としなかった

※2 東京都共同募金会へ納付し、翌年度、地域福祉活動費として社協事業に配分・充当する

イ 地域福祉活動費内訳

令和2年度地域福祉活動費(令和3年度使用分)を次の事業に配分・充当した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
地域福祉活動事業	10,974,233円	11,651,881円	29,714,281円
日常生活自立支援事業	0円	1,492,521円	3,111,000円
生活困窮者等自立生活支援事業	200,000円	200,000円	400,000円
権利擁護支援事業	0円	430,875円	929,000円
令和3年度への繰越金	0円	19,616,335円	-
地域福祉活動費合計	11,174,233円	33,391,612円	34,154,281円

ウ 歳末たすけあい職員街頭募金活動

各地域の主要駅周辺にて職員による街頭募金に取り組んだ。

【開催状況】

地域	活動日	時間	場所	募金額	
世田谷	12/3(金)	12:00~14:00	経堂駅前	54,954円	54,954円
	12/8(水)	12:00~14:00	三軒茶屋駅周辺	荒天のため中止	
北沢	12/3(金)	12:00~14:00	下北沢駅前	60,469円	97,309円
	12/9(木)	12:00~14:00	下北沢駅前	36,840円	
玉川	12/1(水)	12:00~14:00	二子玉川ライズ	49,038円	83,007円
	12/7(火)	10:00~12:00	二子玉川ライズ	33,969円	
砧	12/2(木)	12:00~14:00	千歳船橋駅前	23,808円	154,259円
	12/9(木)	12:00~14:00	成城学園駅前	130,451円	
烏山	12/6(月)	10:00~12:00	千歳烏山駅前	43,612円	144,411円
	12/9(木)	14:00~16:00	千歳烏山駅前	100,799円	
募金額合計					533,940円

② 世田谷区共同募金配分推せん委員会事務局運営

世田谷区共同募金配分推せん委員会を2回(6月^{*1}・12月)開催し、世田谷区内の施設・地域福祉活動団体、ふれあい・いきいきサロン活動等への配分推せん及び歳末たすけあい・地域支えあい募金による見舞金等を決定した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
配分推薦委員会開催回数	2回	2回	2回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
配分推薦委員会開催回数	2回	2回	2回

※1 第1回委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため書面開催

II 生活自立支援事業拠点区分

1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 生活困窮者自立支援事業

コロナ禍により、離職や休業等に伴い経済的困窮の状況に陥った住民からの相談が、昨年度に引き続き多く寄せられた。その中では、生活福祉資金(特例貸付)や住居確保給付金等の利用を終えても、困窮状態が改善されないケースもみられはじめた。

相談支援では、対面による相談の機会が増加し、感染症防止の対策に留意した。相談者の抱える生活課題を捉え、関係機関と連携しながら総合的な支援を行った。

① 自立・相談支援【区受託】

コロナ禍により深刻化した生活課題を抱える方に対し、関係機関と連携しながら、生活の再建・安定に向けて面談や電話相談等を通じて各種事業や制度を活用して支援を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	1,000件	800件	350件
プラン作成件数(新規、更新含む)	800件	900件	470件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	1,114件	1,276件	1,498件
プラン作成件数(新規、更新含む)	603件	427件	500件

② 家計相談【区受託】

家計収支の均衡が取れず、経済的な課題を抱える相談者が増加する中、自立支援プラン作成時に家計表作成を促し収支の見える化を図るとともに、自ら収支バランスを整え、家計管理ができるよう支援を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
家計相談件数	200件	200件	200件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
家計相談件数	421件	260件	254件

③ 生活保護受給者支援【区受託】

生活保護受給者の家計の収支バランスを保つための相談支援、給付基準内の賃料で住まいを確保するための転宅支援を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
転宅支援件数	50件	20件	30件
家計改善支援件数	20件	20件	20件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
転宅支援件数	13件	14件	19件
家計改善支援件数	2件	1件	23件

④ 住居確保給付金【区受託】

コロナ禍に対する生活支援策として、令和2年4月に特例として対象要件が拡大され、令和3年度は新規、延長、再延長とも1千件を超える申請があった。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規申請者件数	1,280件	6,300件	100件
延長申請者件数	1,200件	4,900件	25件
再延長申請者件数	800件	2,900件	5件
再々延長申請受付件数	850件	-	-
特例再支給申請受付件数	1,500件	-	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規申請者件数	1,171件	7,065件	105件
延長申請者件数	1,259件	4,812件	58件
再延長申請者件数	1,206件	3,625件	30件
再々延長申請受付件数	1,085件	2,383件	-
特例再支給申請受付件数	2,529件	131件	-

※特例の内容：自己の責によらない休業等により離職と同程度に収入が減少し、住まい（賃貸）を喪失するか、喪失のおそれのある状況の続く方々も対象とする。家賃助成は最長15ヶ月

※再支給申請者は特例再支給のみ計上

※計画数値は、業務委託変更契約の内容を反映

⑤ 生活困窮者就労準備支援事業【区受託】

コロナ禍により参加人数の調整等を行いながら、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者及び生活保護受給者に対し、生活環境の改善や基本的なコミュニケーション力の向上を図る居場所の提供、職場見学・体験等の支援を行った。

生活自立：居場所（カフェ豪徳寺、漫画喫茶ガリレオ）等

社会自立：ジョブトレーニング（生活保護受給者対象）、コラージュ講座等

就労自立：職場体験等

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
講座等実施回数	146回	144回	-
延参加人数	1,820人	1,820人	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
講座等実施回数	169回	59回	-
延参加人数	527人	130人	-

⑥ 日常生活支援アドバイザー派遣事業【区受託】

コロナ禍により、個別の支援が困難な状況になったが、社会参加の機会がない、ひきこもり状態にある生活困窮者及び生活保護受給者に対し、日常生活支援アドバイザーを派遣(1単位3時間)し、日常生活の維持に必要な知識と技術の習得に向け、指導・助言を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
派遣対象者数	30人	30人	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
派遣対象者数	8人	7人	-

⑦ ひきこもりに関する理解啓発

ひきこもり状態にある方への理解を深めるために、本多劇場の協力を得て、当事者の執筆した脚本を役者が演じる形で演劇「ひきこもごもり」を開催した。令和2年度に引き続き、演劇は2回目の開催となり、上演後は、ぷらっとホーム世田谷のホームページで動画を配信している。

令和4年度開設のメルクマールせたがやとの連携による「世田谷ひきこもり相談窓口『リンク』」の周知活動に努めるとともに個別面談を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
セミナー等の開催回数	1回	2回	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
セミナー等の開催回数	1回(113人)	2回(123人)	-

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ひきこもりに関する相談件数	52件	-	-

⑧ 生活困窮者移動支援事業

役所への相談や就労面談に行くための交通費にも事欠く方に対し、交通費(1回500円(区外の場合1,000円まで))を貸し付けた。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数	30人	30人	60人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用者数	7人	13人	17人

⑨-1 フードバンク事業【自主】

生活に困窮して直近の食事の確保に困る方に対し、緊急対応として食料の支援を行うとともに、相談窓口等の情報提供を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
支援件数	200件	150件	130件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
支援件数	180件	192件	183件

⑨-2 フードパントリー事業【区受託（一部自主含む）】

NP0法人（セカンド・ハーベスト・ジャパン）や区内の社会福祉法人の協力を得て、生活に困窮して食料支援を必要とする世帯に対して、三軒茶屋と成城の2か所で、月1回ずつフードパントリー（食料の提供）を実施した。

その際に、区民からの寄付等を活用し、生理用品等の生活用品の配布も行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
支援件数	360件	240件	180件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
支援件数	311件	208件	184件

⑩ 子どもの学習・生活支援事業【区受託】

生活に困窮する世帯の子どもに対し、学習支援等を行う「せたがやゼミナール」（通称「せたぜみ」）は、新型コロナウイルスの感染拡大の時期には、対象者を受験生（中学3年生、高校3年生）に限定し、時間を短縮する等の配慮を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催場所	5カ所	5カ所	5カ所
延登録者数	75人	75人	75人
子ども支援ネットワーク会議の開催	2回	2回	1回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催場所	5ヶ所	5カ所	7カ所
延登録者数	77人	99人	99人
子ども支援ネットワーク会議の開催	1回	0回	1回

⑪ 受験生チャレンジ支援貸付【区受託】

高校や大学等を受験する世帯（所得制限あり）に対して、学習塾等の受講料や受験料の貸付を行なう事業の周知及び申請受付を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
学習塾等受講料申請者（中3）件数	240件	240件	130件
学習塾等受講料申請者（高3）件数	120件	120件	60件
受験料申請者（中3）件数	240件	240件	120件
受験料申請者（高3）件数	160件	160件	80件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
学習塾等受講料申請者（中3）件数	102件	124件	108件
学習塾等受講料申請者（高3）件数	71件	64件	62件
受験料申請者（中3）件数	99件	118件	104件
受験料申請者（高3）件数	93件	88件	83件

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付件数合計	362件	394件	352件
貸付金額合計	42,206,300円	45,545,600円	39,606,200円

⑫ 進学応援給付金

区内児童養護施設や養育家庭から大学等に進学する児童の社会的自立を支援するため、学費の一部を給付した。(1人年間12万円)

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
対象者数	6人	9人	6人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
対象者数	7人	5人	6人

(2) 生活福祉資金貸付事務事業

東社協（貸付実施機関）から相談・受付事務等を受託している生活福祉資金の貸付において、コロナ禍で収入が減少し生活に困窮する方の支援策として、令和2年3月から緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付が実施されている。当初は令和2年7月末日までの実施予定であったが受付期間の延長が繰り返され、現時点では令和4年8月末日までとなっている。

① 生活福祉資金貸付事務事業【東社協受託】

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
福祉資金・教育支援資金	80件	100件	200件
緊急小口資金	40件	20件	20件
総合支援資金	10件	5件	5件
不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
要保護世帯不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
福祉資金・教育支援資金	59件	64件	126件
緊急小口資金	0件	0件	15件
総合支援資金	0件	1件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
要保護世帯不動産担保型生活資金	0件	0件	1件

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
緊急小口資金（特例貸付）	4,122件	12,325件	140件
総合支援資金（特例貸付・初回）	4,025件	8,053件	-
総合支援資金（特例貸付・延長）	1,950件	4,909件	-
総合支援資金（特例貸付・再貸付）	5,230件	3,906件	-

※令和元年度は、台風19号による水害被害者に対して緊急小口資金の特例貸付が行われた。

2 貸付金等事業サービス区分

(1) 貸付金等事業

区の協力を得て、応急貸付金の貸付事業を通じた緊急性の高い生活費の一部（食費や水道光熱費）等の貸付支援を行った。

① 応急貸付金事業

低所得世帯が緊急的に生活費に窮した場合に小口の資金を貸付け、世帯の自立を支援した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付件数	30件	31件	19件
貸付金額	519,750円	786,500円	266,562円
償還金額	449,550円	421,540円	442,090円

② 緊急援護金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の困窮時の援助を目的として、緊急一時金（小口援護資金）を貸付け、生活の立て直しに向けた支援を行った。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付件数	203件	161件	202件
貸付金額	563,350円	447,490円	457,080円

III 権利擁護事業拠点区分

1 成年後見推進事業サービス区分

(1) あんしん事業

認知症、知的障害、精神障害や身体障害により、生活に不安がある方やサービスの利用手続きが難しい方に対し、生活支援員が福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりを行った。また、申立て手続き等が必要な方には成年後見制度への移行支援をした。

訪問にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、ケースによっては、生活支援員（臨時職員）に代わり、専門員（職員）が支援を行った。

① あんしん事業（福祉サービス利用援助事業）【東社協受託】

地域住民やケアマージャー等への普及啓発に努めた結果、コロナ禍により直ちに利用契約に結びつかないケースもあったが、新規契約件数が増加した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規契約件数	40件	30件	30件
年度末契約件数	130件	150件	140件
後見移行件数	17件	15件	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規契約件数	63件	44件	48件
年度末契約件数	158件	128件	119件
後見移行件数	10件	14件	17件

(参考)

ア 相談件数

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
電話・窓口相談件数	114件	126件	147件
新規・既契約者への訪問件数	1,810件	1,782件	2,155件

イ 契約件数等

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規契約件数	63件	44件	48件
解約件数 (うち後見制度への移行件数)	33件 (10件)	35件 (14件)	49件 (17件)
3/31現在の契約件数	158件	128件	119件
生活支援員登録人数(3/31現在)	118人	113人	108人

② あんしん法律相談

高齢者・障害者に法的な助言が得られる機会を提供するため、弁護士による無料の専門相談を実施した。(第2木曜日の午後) コロナ禍を踏まえ電話による相談も実施した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	43件 (113件)	30件 (108件)	45件 (115件)

※()は、「福祉サービス利用援助事業」と「成年後見推進事業」を合わせた「あんしん法律相談」合計数

(2) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度に関する相談、利用の支援、成年後見人等候補者に関する情報提供や弁護士による専門相談を実施した。また、区民成年後見人養成研修を実施して人材を育成するとともに、区民成年後見人等の活動を支援した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインを活用する等の工夫をしたが、一部事業は中止や縮小せざるをえなかった。

また、専用ホームページ「えみいサイト」やメールマガジン「えみい通信」を通して制度や活動の啓発に努めた。

① 成年後見制度の専門相談・支援【区受託】

判断能力が低下した高齢者・障害者の生命・財産を守り、地域で安心して生活できるよう、相談員による相談と弁護士による無料の専門相談(あんしん法律相談：第1・3水曜日の午後)を実施し、成年後見制度の利用促進を図った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	1,550件	1,725件	1,640件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談件数	1,678件	1,489件	1,242件

※相談件数は、相談員による相談件数

(参考)

実績	令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
あんしん法律相談 (成年後見制度利用支援事業)	70件 (113件)	78件 (108件)	70件 (115件)

※()は、「福祉サービス利用援助事業」と「成年後見制度利用支援事業」をあわせた「あんしん法律相談」合計数

② 親族後見人等への支援【区受託】

本人及び親族による申立や、親族後見人による家庭裁判所への定期報告等への支援、相談・助言を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
申立等支援件数	80件	10件	-
親族後見人継続支援件数	10件	20件	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
申立等支援件数	78件	74件	-
親族後見人継続支援件数	3件	2件	-

※申立等支援件数は申立て書類作成支援と申立て手続き支援の合計数

③ 弁護士による専門相談【区受託】

高齢者、障害者、またその家族及び支援者等が法的な助言を得られる機会を提供する。

○弁護士による無料相談 1人30分(予約制)

○第1・3水曜日午後実施

④ 区民成年後見人養成研修の実施【区受託】

区民成年後見人等となる人材育成として養成研修を実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
修了者数	11人	20人	20人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
修了者数	8人	8人	17人

※コロナ禍により、令和2年度は研修参加者数を減らし、令和3年度は計画数を低く設定

⑤ 区民成年後見支援員の活動支援【区受託】

成年後見制度の利用支援・普及啓発のため、区民成年後見支援員(区民成年後見人養成研修を修了して支援員として登録された方)に活動の場の提供等の支援を行った。区民成年後見支援員は、活動実績を積んだ後に成年後見人等を受任しており、専門性のある地域人材となっている。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
区民成年後見支援員登録人数	166人	185人	179人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
区民成年後見支援員登録人数	157人	165人	165人

(参考)

ア 区民成年後見支援員の活動 その他詳細

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
連絡会等の開催 ^{※1}	3回	3回	3回
専門職後見人のサポート活動件数 ^{※2}	2件	3件	3件
中立手続き説明会説明員参加延人数 ^{※3}	35人	29人	72人
アドバイザー活動 ^{※4}	1人	5人	3人
普及啓発支援員活動 ^{※5}	7人	2人	17人

※1 連絡会は書面開催、継続研修は録画配信

※2 本人への面会、見守り等

※3 コロナ禍のため三軒茶屋会場は開催中止。成城会場も一部開催中止

※4 ベテラン区民成年後見人による初任の区民成年後見人への指導助言

※5 成年後見制度の説明

イ 成年後見制度相談会の実施

成年後見制度利用促進および区民成年後見支援員の活動分野の拡大策の一環として、5地域で成年後見制度相談会を実施した。区民成年後見支援員が相談員となり、成年後見制度の説明や相談に応じた。コロナ禍により一部開催中止とした。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	13回	18回	31回
相談件数	24件	29件	53件

⑥ 成年後見センター運営委員会【区受託】

成年後見制度を必要とする区民に対する利用支援のあり方や、成年後見センターの運営方針等を検討した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
小委員会開催回数	廃止	廃止 ^{※1}	5回

※1 令和2年度より運営委員会小委員会を廃止して事例検討委員会小委員会を設置し、区民成年後見人の選任や任意後見事業の検討を行った。

⑦ 事例検討委員会【区受託】

成年後見制度に関する事例について、後見業務の内容を検討し、成年後見人等として受任中の弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士による専門的なアドバイスを受けるとともに、後見人等候補者の選任を行った。

なお、運営委員会小委員会は廃止し、令和2年度より事例検討委員会小委員会を設置して区民成年後見人の選任を行っている。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	24回	24回	20回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	24回	22回	18回

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
事例検討委員会小委員会開催回数	11回	8回	-

⑧ 権利擁護事例検討会【区受託】

成年後見制度やあんしん事業に関する事例を検討し、あんしんすこやかセンター、地域障害者相談支援センター等との連携を図った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	2回	2回	2回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	2回	2回	1回

⑨ 地域連携ネットワーク会議の開催【区受託】

世田谷区における成年後見制度の中核機関として、行政や相談支援機関、専門職、民生・児童委員等が参加し、成年後見制度の利用促進や課題を協議する地域連携ネットワーク会議を開催した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	2回	2回	2回
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	2回	0回	2回

⑩ 親族後見人のための成年後見セミナー【区受託】

親族後見人対象のセミナーを開催し、親族後見人の支援を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	1回	1回	-
募集人数	20人	20人	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	1回	1回	1回
参加人数	11人	17人	10人

⑪ 区民成年後見人等の活動支援【区受託】

区民成年後見人の後見活動や死後事務への対応、家庭裁判所への報告書の提出等について、相談・支援を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	15件	25件	25件
年度末受任件数	72件	95件	85件
死後事務対応件数	10件	15件	-
区民成年後見人等受任者数	55人	-	-

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	16件	8件	11件
年度末受任件数	60件	65件	69件
死後事務対応件数	16件	9件	-
区民成年後見人等受任者数	56人	-	-

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の数値は「後見等監督人の受任件数」の表と一致する。

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
終了件数	21件	12件	6件

⑫ 活動報告書の作成【区受託】

成年後見制度の利用促進にかかる事業等を紹介し、区民や事業者に周知することで、成年後見制度の普及啓発を行った。

⑬ 支援者のための研修【区受託】

高齢者や障害者を支援する業務に従事する職員が成年後見制度を理解し、制度を必要とする方を適切につなげられるよう、令和3年度より新たな研修を開始した。

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	1回	-	-
受講者数	62人	-	-

(3) 法人による成年後見事業

「成年後見センター新5カ年計画」(中間評価及び計画数値の見直し)に基づき、法人の自主事業に取り組んだ。

法人後見の受任については、ほぼ目標量どおりに、後見監督は、目標をやや下回る結果となった。また、引き続き法人後見で安定したケースを区民成年後見人に引き継ぐリレーを実施した。

任意後見は、ほぼ目標量どおりの契約件数だったが、判断能力の低下により後見制度の発効を検討するケースが増えた。

成年後見制度の利用促進に向けて実施している老い支度講座や成年後見セミナーは、コロナ禍により中止や規模を縮小しての開催となった。

① 法人による区民後見監督

家庭裁判所による区民成年後見人等の選任に伴い、本会が後見等監督人の選任の審判を受け、区民成年後見人等の活動を監督した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	15件	25件	25件
年度末受任件数	72件	95件	85件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	16件	8件	11件
年度末受任件数	60件	65件	69件

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の数値は「①区民成年後見人等の活動支援【区受託】」の表と一致する。

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
終了件数	21件	12件	6件
累計受任件数	208件	192件	184件

② 法人による成年後見

ア 法人後見

特に福祉的配慮が必要で他に適切な成年後見人等がない人に対して、本会が法人として後見人等の審判を受け、身上保護、財産管理等を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	25件	30件	30件
年度末受任件数	105件	110件	95件
死後事務対応件数	15件	15件	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規受任件数	17件	27件	25件
年度末受任件数	102件	99件	90件
死後事務対応件数	6件	12件	-

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
終了件数	14件	18件	14件
3/31現在の受任件数 (ほか確定待ち)	102件 (0件)	99件 (0件)	90件 (8件)
累計受任件数	205件	188件	161件

イ 任意後見

自分の将来のために、本会に成年後見人を依頼したいと希望する高齢者と公正証書により任意後見契約を結び、定期訪問または電話による日常生活の見守りを行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規契約件数	3件	7件	7件
年度末契約件数	12件	27件	22件
入退院時支援件数	3件	3件	-
葬儀等手配件数	3件	3件	-
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規契約件数	1件	3件	0件
年度末契約件数	10件	11件	9件
入退院時支援件数	1件	3件	-
葬儀等手配件数	1件	2件	-

※入退院時支援件数及び葬儀等手配件数とは、当年度の新規契約件数のうち、オプション契約として契約した件数を意味する。

(参考)

実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
契約終了件数 (うち後見発効件数)	2件 (1件)	1件 (1件)	0件
累計契約件数	19件	18件	15件

③ 成年後見セミナー

成年後見制度について、申立てやその後の後見業務に活用してもらうことを目的とした講座を開催した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	4回	4回	5回
募集人数	160人	160人	200人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催数	1回	3回	5回
参加人数	11人	32人	97人

④ 老い支度講座

制度の普及啓発を図るため、成年後見センター事例検討委員会の弁護士、社会福祉士を講師として、成年後見制度、遺言、相続等に関する講座を実施した。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	5回	5回	5回
募集人数	150人	150人	150人
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開催回数	2回	1回	4回
参加人数	24人	19人	157人

⑤ 区民成年後見人への後見報酬・区民成年後見支援員への活動助成

権利擁護推進基金積立金を活用し、被後見人の経済的な理由により後見報酬が得られない区民成年後見人に報酬助成を行うとともに、区民成年後見支援員の勉強会等の活動に対して助成を行った。

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
後見報酬助成件数	12件	10件	10件
自主活動助成件数	5件	5件	5件
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
後見報酬助成件数	3件	7件	5件
自主活動助成件数	3件	4件	4件

⑥ 「私のノート（世田谷区社会福祉協議会版エンディングノート）」の発行

自分の将来の生活について考え、周囲に自分の思いを伝え、安心して暮らすための備えとして、「私のノート」を各種講座で紹介し販売を行った。(累計販売実績：2,587冊)

計画	令和3年度	令和2年度	令和元年度
販売部数	300部	300部	300部
実績	令和3年度	令和2年度	令和元年度
販売部数	194部	97部	174部

収益事業区分

I 自動販売機設置事業拠点区分

1 自動販売機設置事業サービス区分

(1) 自動販売機設置事業

自動販売機の設置増に向けて、地域社協だよりや SNS、チラシ等を活用して PR 活動を行った。令和 3 年度は、コロナ禍における感染防止の観点から昨年度に引き続きキャッシュレス機への入替を順次行った。

① 地域貢献型自動販売機設置

計画	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
自動販売機設置台数	34 台	40 台	38 台
実績	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
自動販売機設置台数	38 台	34 台	38 台

(参考)

実績	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
販売手数料収入額	8,708,776 円	11,782,497 円	11,894,136 円

※公共施設の移転・改築等により設置台数が減少傾向にあるため、個人宅や企業、民間施設等に設置できるよう広報活動に積極的に取り組み、新たに 3 か所 4 台を設置した。

別表

別表一覧

- 別表1 「1-(1)-① 理事会、評議員会等」関係
 別表2 「1-(1)-④ 世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係
 別表3 「2-(1)-① 地区社会福祉協議会の運営支援」関係
 別表4 「2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】」関係
 別表5 「2-(1)-⑥ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな）【区受託】」関係
 別表6 「2-(2)-② 地域・地区における交流・啓発 ア サロンリーダー交流会等の開催」関係
 別表7 「2-(5)-① 地区サポーター」関係

別表1「1-(1)-①理事会、評議員会等」関係

(1) 理事会の開催

開催	内容
第1回 6月4日(金) ※決議の省略	【決議事項】 1 令和2年度事業報告・決算（計算書類・財産目録）の承認 2 令和3年度補正予算（第一次）（案） 3 次期役員候補者の決定 4 評議員候補者の推薦 5 評議員選任・解任委員会の開催 6 役員等賠償責任保険契約について 7 第1回評議員会の招集事項の決定 【報告事項】 1 予算の流用について 2 「財政健全化計画」の中間評価及び計画数値の見直し 3 社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定について 4 職場におけるハラスメントの防止に関する基本方針の策定について 5 「成年後見センター新5カ年計画」の中間評価及び計画数値の見直し 6 生活福祉資金（特例貸付）と住居確保給付金の実績について 7 令和2年度応急貸付金の償還免除について 【その他】 1 令和3年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 令和3年度事業計画・予算書（冊子）の配布について
第2回 7月9日(金) ※決議の省略	【決議事項】 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会役職者の選定 2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任 3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正 【その他】 1 令和3年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 役員就任に伴う事務手続きについて
第3回 11月12日(金)	【決議事項】 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会理事の欠員補充に伴う理事候補者の

	<p>決定</p> <p>2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正等</p> <p>3 令和3年度補正予算（第二次）</p> <p>4 令和3年度第2回評議員会の招集事項の決定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 予算の流用について</p> <p>2 令和3年度事業中間報告</p> <p>3 令和3年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について</p> <p>4 新型コロナウイルスに感染した在宅療養者への支援物資の配布状況について</p> <p>5 歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員による街頭募金の実施について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和3年度理事会・評議員会スケジュールについて</p> <p>2 えみいレポート 令和2年度世田谷区成年後見センター活動報告書</p>
<p>第4回</p> <p>3月14日（月）</p>	<p>【決議事項】</p> <p>1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会役職者の欠員補充に伴う役職者の選定</p> <p>2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会理事の欠員に伴う理事候補者の決定</p> <p>3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正等</p> <p>4 令和3年度補正予算（第三次）</p> <p>5 令和4年度事業計画・予算（案）</p> <p>6 令和3年度第3回評議員会について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 地域福祉中期事業計画の重点事業の取り組みについて</p> <p>2 世田谷区社会福祉協議会コロナ禍の取り組み 令和2年度～令和3年度</p> <p>3 予算の流用について</p> <p>4 ぷらっとホーム世田谷及び分室の移転について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和4年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュール（予定）</p>

（2）評議員会の開催

開催	内容
<p>第1回</p> <p>6月30日（水）</p> <p>※決議の省略</p>	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和2年度決算（計算書類・財産目録）の承認</p> <p>2 令和3年度補正予算（第一次）（案）</p> <p>3 役員を選定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 令和2年度事業報告について</p> <p>2 財政健全化計画の中期財政見直しについて</p> <p>3 職場におけるハラスメントの防止に関する基本方針の見直しについて</p> <p>4 成年後見センター新5カ年計画の見直しについて</p> <p>5 新型コロナウイルス感染症の影響による特例対応について</p> <p>6 令和2年度応急貸付金の償還免除について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和3年度理事会・評議員会等スケジュールについて</p> <p>2 令和3年度事業計画・予算書（冊子）の配布について</p>

<p>第2回 11月24日(水)</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会理事の選任 2 令和3年度補正予算(第二次) <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正等 2 予算の流用について 3 令和3年度事業中間報告について 4 令和3年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について 5 新型コロナウイルスに感染した在宅療養者への支援物資の配付状況について 6 歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員による街頭募金の実施について <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度理事会・評議員会スケジュールについて 2 えみいレポート 令和2年度世田谷区成年後見センター活動報告書
<p>第3回 3月28日(月) ※決議の省略</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度補正予算(第三次) 2 令和4年度事業計画・予算(案) <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会副会長の決定について 2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正等 3 地域福祉中期事業計画の取り組みについて 4 コロナ禍の取り組み報告書について 5 食の支援情報サイト「せたべる」公開について 6 ぷらっとホーム世田谷及び分室の移転について <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュール(予定)

別表2 「1-(1)-④世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係

実績内訳

会員数

実績	令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
会員数	14,745人	6,597人	39,995人
一般会員	13,134人	5,029人	37,704人
特別会員	1,112人	1,109人	1,553人
法人会員	499人	459人	738人

会費額

実績	令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
会費額	23,209,782円	17,648,750円	40,016,079円
一般会員	9,584,387円	3,809,057円	23,617,633円
特別会員	9,951,065円	10,301,393円	11,368,746円
法人会員	3,674,330円	3,538,300円	5,029,700円

別表3 「2-(1)-①地区社会福祉協議会の運営支援」関係

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した場合、成果欄に【中止】と表記する。

(1) 世田谷地域

①池尻地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 739,383円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(3回) ※1回、書面開催含む
町会敬老事業賛助	町会主催の敬老事業に賛助し、地区内の高齢者福祉の増進を図った。	池尻地区内8町会(10月)
地域福祉推進員研修	推進員及び地区内の住民が交流する機会として企画した。	【中止】
ふれあい交流会 (三宿・池尻音楽交流会)	一緒に歌を歌い、身体を動かすことで、地区の高齢者の閉じこもり防止と交流を図る事を目的として企画した。(池尻あんしんすこやかセンターとの共催事業)	“小さく歌う音楽交流会”として2回(11・1月)開催
地域交流事業 ・小動物ふれあい交流会 ・子育てママのリフレッシュデー	①小動物とふれあうことにより、地区内の子どもたちに命の大切さと思いやりの心を育む機会を企画した。 ②子育て世代と地域住民同士のつながりを創出する新たな事業を検討・試行するため、関係機関と連携して企画した。	①小動物ふれあい交流会 【中止】 ②子育てママのリフレッシュデー 検討委員会2回開催(委員会参加団体) ・池尻児童館 ・池尻保育園 ・おでかけひろば三宿 ※イベント自体は中止
広報事業	①住民が地域での必要な情報を受け取れる生活環境の整備を図るため、スマホ講座の形態(体験を重要視、講座型、よろず型)を変えながら実施した。 ②「池尻地区社協だより」と「地区社協紹介リーフレット」を作成し、地区社協の活動を住民に広く周知し、地区社協活動への理解と協力を呼びかけた。	①楽笑スマホ講座を開催 体験型2回、講座型3回 よろず相談所【中止】 ② ・地区社協だより 2月発行 ・地区社協紹介リーフレット(1000部印刷)
住民学習会	地域福祉推進員研修と統合し企画した。	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、会費募集を実施。新型コロナウイルス感染症防止のため戸別訪問を白粛、特別会員・法人会員へ振込用紙で協力を依頼。	通年実施 会員数:131人 会費額:464,000円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11・12月 募金額 560,580円

②太子堂地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 726,385円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(1回) 役員会(1回)

地区社協 PR 事業	町会回覧板や区掲示板、メールマガジンを活用し、地区社協活動の事業や地域での取り組みについて積極的に発信し、地区社協活動の周知・啓発活動を行った。	随時実施 メールマガジン 35 件配信
地域福祉推進員研修	見守りネットワーク会議（テーマ：認知症とともに生きる希望条例）を通して、当事者の思いや認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについて考え、理解を深めた。	2月15日（火） 参加人数 29人 うち推進員 7人
地区活動団体事業賛助	地区内の地域事業や団体に対し、賛助を行った。	町会敬老事業（7町会）：9月 太子堂ふれあいまつり：【中止】 太子堂マラソン大会：【中止】
音楽交流会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため‘歌わない音楽交流会’を企画し、感染状況を見ながら開催した。	11月25日 ※緊急事態宣言期間・まん延防止措置期間は中止とした。
ふれあい芋煮会 （多世代交流事業）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。	11月3日：【中止】
命のバトン事業	管内在住者を対象とし、日常生活上の不安軽減を図り、地域住民同士の顔なじみの関係の構築に向けて、広報周知すると共に、登録者へアンケート調査を行い、コロナ禍での生活や困りごとを把握した。	通年実施 310人（228世帯）登録
ICTを通じたつながりづくり	暮らし・防災・健康に役立つスマホの使い方を学び、情報を得る力、発信する力を育てると共に、困ったときに支え合える新しいコミュニティづくりの機会とした。	①9月：10人×3日間 ②3月：8人×1日間 ※まん延防止措置期間により少人数で実施 ※社協デジボラ・学生ボラ 4人協力
食の支援 （フードドライブ）	コロナ禍での生活困窮世帯増加の状況からフードドライブを実施し、地区内で活動する子ども食堂や「ぶらっとホーム世田谷」を通じ、支援を必要とする方々へお届けした。	9月28日・29日実施 計 1200点
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、会費募集を実施。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため戸別訪問を自粛し、特別会員・法人会員へ向けて振込用紙で協力を依頼した。	通年実施 会員数：89人 会費額：303,800円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	地域福祉の推進を図ることを目的とし、関係団体の協力を得て区社協が実施する募金活動を行った。 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため戸別訪問を中止した。	11・12月 募金額：630,500円

③若林地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 868,872円）

事業名	内容	成果
-----	----	----

地区社協運営	総会、役員会を開催し、適切な維持・運営に努めた。	総会（書面開催） 運営委員会（2回） 役員会（2回）
広報 PR 事業	広報紙の発行を通し、地域住民に地区社協活動を周知した。 メールマガジンを活用し、地区社協事業の情報を積極的に発信した。 町会回覧板や掲示板を活用し、地区社協活動や事業のPRを行った。	広報紙 3月発行（800部） メールマガジン配信：24件
見守り支援協働事業	様々な地域課題に対し、地域でのゆるやかな見守りの必要性や、地域活動の意義等を共有し、各団体の日頃の活動に活かすことを目的として計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	【中止】
地域福祉推進員研修事業	地域福祉推進員の知識向上のため、視察研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	【中止】
命のバトン事業	在宅時の緊急時に備え「命のバトン」の普及に取り組んだ。啓発のためメールマガジン、地区ホームページでの周知や、地区イベントや窓口等でチラシ配布を行った。	448世帯 675人
地域交流事業	多世代交流の機会として芋煮会、伝承遊び、子ども遊び等を、地区内の関係団体や住民の協力を得て実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。部会開催し来年度事業に向けて検討を行った。	【中止】 部会（1回）
住民学習事業	地域住民を対象に、健康体操・体成分測定・骨密度測定・血管年齢測定を実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	【中止】
子育て支援事業	子育て中の親子の集いの場として、三軒茶屋小学校多目的室にて、毎月第2金曜日に「うさちゃんぼっぼ」を実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。部会を開催し事業に向けての検討及び場所提供のあった保育園見学を行った。	【中止】 部会（1回） 三軒茶屋わこう保育園見学
地区活動団体事業賛助事業	地区内活動団体の事業へ賛助を行った。支えあい活動団体は対象団体が休止中のため実施なし。	地区活動団体 4団体 4事業
福祉学習推進事業	福祉に対する理解と関心を深め、福祉の心を育てることを目的とし、福祉学習を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため福祉学習冊子配布と物品貸出、ゲストティーチャーの紹介を行った。	若林小4年生 68人 11月24日（水）実施

フードドライブ	コロナ禍で生活困窮世帯が増加している状況からフードドライブを実施し、地区内で活動する「若林子ども食堂みのり」や「ぷらっとホーム世田谷」を通じ、支援を必要とする方々へお届けした。	7月12日(月) 10月18日(月) 3月14日(月)【中止】
社協会費募集事業	組織基盤の強化と地区社協事業の充実・周知のため、関係団体の協力を得て会費募集を行った。今年度は募集時期を10月～11月に変更し、戸別訪問とあわせて振込用紙による会費納入もできるよう対応した。	通年実施 会員数:336人 会費額:634,911円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	地域福祉の推進を目的として、区社協が実施する募金活動を行った。	11月～12月 募金額:1,255,521円

④上町地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 935,957円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会(書面開催)、運営委員会、役員会、総務会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会4月(書面開催) 運営委員会(1回) 役員会(1回) 総務会(1回)
地域福祉人材育成	福祉学習における物品貸し出し 松丘小学校4年生対象 ・ブラインドウォーク体験	6月実施 体験児童数:149人 ※今年度はコロナ禍のため、感染対策の観点から、講師派遣はせず物品の貸し出しのみ
広報PR事業	広報紙「上町地区社協だより」発行の他、関係団体と共に自粛中の過ごし方の提案やコロナ禍での各団体の工夫をした取り組み等を発信する「ココロンほっと通信」を発行し、社協の周知に努めた。	上町地区社協だより 1回発行 ココロンほっと通信 2回発行
地区啓発活動団体事業 賛助	コロナ禍により各校のPTA活動が縮小する中でも、工夫を凝らした事業やイベントの地域活動の賛助支援を行った。また上町ふれあいカフェは、年間を通じて休止となったが、「上町ふれあいカフェ通信」を発行し、情報の発信に努めた。	(賛助) 7月 桜木中学校PTA 7月 桜小学校PTA 8月 弦巻小学校PTA 2月 弦巻中学校PTA 上町ふれあいカフェ 通信3回発行
上町社協見守り事業	新しい生活様式でのつながりづくり、見守り機能の一環としてスマートフォンの活用の推進を図った。 ・オンライン体験会 ・サロンへのGoogleアプリを用いた出張講座	スマホ広場 1月14・21日開催 各回14人参加 NPO せたがやスマホ研究会協力 ・サロン出張講座 2月実施
地域交流事業	ふれあい作品展は展示のみ開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため手づくり講習会の実施は見合わせた。	ふれあい作品展 11月29日～12月1日 (3日間)

		参加団体：16 団体
社協会費募集事業	コロナ禍により戸別訪問による募金活動は自粛。関係団体や住民が集まる会議体での会費募集の呼びかけの他、法人会員へ振込用紙を送付し協力を呼びかけた。	通年実施 会費額 472,800 円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	コロナ禍により戸別訪問による募金活動は自粛。ふれあい作品展、社協サロン、町会、各種会議体等への募金の呼びかけと併せて、協力店への募金箱の設置を通して募金活動を行った。	11・12 月実施 募金額：595,871 円

⑤経堂地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,220,369 円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 役員会・運営委員会(3回)
地区活動団体事業賛助<協賛>	敬老事業に支援を行い、地区内の福祉増進を図った。青少年、地区活動団体事業は実施予定であったが、コロナ禍で中止。	町会敬老事業(9月)
地域福祉推進員研修	社協の成り立ちや現在の取り組み活動について理解を深める研修を実施。また学習会(見守りネットワーク)に参加し、「コロナ禍の見守り・支援活動の取り組み」について理解を深めた。	研修会：3月7日(月) 34人参加 学習会：3月18日 35人参加(うち推進員21人)
見守り活動	全推進員が自分のできるコロナ禍での見守り活動を行い、困った時に声をかけあえる地域づくりを行った。地区内で住民が集う機会をつくり、交流の場の確保に努めた。	通年・随時 きょうD0：コロナ状況に合わせ、開催可能な月に開催。
広報	広報紙の発行や、地区内の関係機関や社協協力店へ広報誌を配布し、地区社協の活動PRを行った。	広報紙発行(1回)
子育て交流会	地区内の子育てに関する相談に応じ、親子で参加できる、子どもの見守り付き交流会(講演あり)を開催し、子育て支援の場づくりと困りごとの把握に努めた。	10月30日(土) 桜丘児童館 9組18人参加
イキイキ演芸会	高齢者が安全にかつ気軽に参加できる映画鑑賞会を実施し、千歳船橋にゆかりのある森繁久彌氏の作品を上映。ご子息の建氏にも講演いただき、高齢者の外出の機会、健康維持を図った。アンケートを実施し、参加者の困りごと把握に努めた。	11月22日(月) 宮坂区民センター 47人参加 11月29日(月) 桜丘ホール 62人参加
地域環境美化清掃活動参加<共催>	地区内清掃活動に参加し、他団体とのネットワーク作りの予定であったがコロナ禍で中止。	【中止】

社協会費募集活動	関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。また特別・法人会員へ振込用紙での募集に努めた。	通年実施 会費額：1,933,419円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、関係団体の協力を得ながら、募金活動を行った。	11・12月 募金額：2,538,265円

⑥野沢地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 788,341円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 役員会・運営委員会(2回)
地域の繋がり支援事業	食の支援では今年度、食品だけでなく生理用品等衛生用品の寄付を募り、子ども食堂や生活困窮世帯へとつなげた。コロナ禍で孤立する親子同士の交流や地域資源の情報提供、地域とのつながりづくりを目的に子育てママのリフレッシュデーを計画したが、まん延防止等重点措置期間延長により中止した。	食の支援：8月23・26日 ICT支援：11月3回講座 (10・17・24日) 子育てママのリフレッシュ事業：3月20日(日)予定 ⇒まん延防止期間延長により中止
音楽交流会	再開に向け検討を進めていたが、開催予定日がまん延防止等重点措置期間と重なり開催を中止した。	2月10日(木)予定 ⇒まん延防止期間中のため中止
地域見守り事業	サロンのざわの再開に向けて地域福祉推進員・民生委員と検討を進めるも、緊急事態宣言の発出により再開を見合わせた。	12月：参加者21人 2・3月：まん延防止期間のため中止
地域福祉推進員研修	デジタル活用による新たな見守りやつながりの形についての学習会の実施を検討していたが、開催予定日がまん延防止等重点措置期間と重なり中止した。	2月2日(水) 『デジタルがつくる新たな見守りと繋がり』 講師：せたがやすまほ研究会 ⇒まん延防止期間中のため中止
広報PR事業	地区社協の活動を広く周知するPRリーフレットを作成するほか、適宜、区掲示板やメールマガジン、地区ホームページを活用し、地区社協や地域社協の取り組みについて広報を行った。	地区社協リーフレット発行
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、福祉増進を図った。	民生・児童委員補助 ミニデスタッフ支援金
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の活動周知のため、コロナ禍の状況下、無理のない可能な範囲での戸別訪問による募集活動を実施。	通年実施 会員数：648人 会費額：724,600円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11・12月 募金額：260,836円

⑦下馬地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,236,023円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 役員会(2回)

PR 事業	地区社協の活動を広く周知するリーフレットを作成するほか、適宜、区掲示板やメールマガジン、地区ホームページを活用し、地区社協や地域社協の取り組みについて広報を行った。	地区社協リーフレット発行
地域ボランティア活動	サロン下馬和楽による「下馬和楽だより」の継続発行によるゆるやかなつながり、見守り活動の継続を実施する他、ガレージでカフェ主催のリンパ体操を新しい生活様式の中で定期開催し、コロナ禍でも気軽に参加できる場づくりに努めた。	下馬和楽だよりの発行 (隔月:計5回) サロン下馬和楽 3月28日開催 参加者:30人 ガレージでカフェ主催リンパ体操
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、地域福祉の増進を図った。	民生・児童委員補助
福祉学習の推進		今年度実施なし
地域の繋がり支援事業	食の支援では今年度、食品だけでなく生理用品等衛生用品の寄付を募り、子ども食堂や生活困窮世帯へとつなげた。コロナ禍でスマホ等を活用した非対面での見守りやつながりの形を検討するべく、地域活動者向けのスマホ講座の開催や、町会、世田谷警察との協同による高齢者への防犯アプリの導入支援等の取り組みを実施した。	・食の支援:8月23・26日 ・活動者向けスマホ講座: 11月10・17・24日 ・防犯アプリ導入支援 (防犯アプリをつかってみませんか?):8月31日
地域福祉推進員研修	デジタル活用による新たな見守りやつながりの形についての学習会の実施を検討していたが、開催予定日がまん延防止等重点措置期間と重なり中止した。	2月9日(水) 『デジタルがつくる新たな見守りと繋がり』 講師:せたがやすまほ研究会 ⇒まん延防止期間中のため中止
社会福祉協議会会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、社協会費募集を実施。 なお今年度は戸別訪問を実施せず、地区事務局での窓口受領及び特別・法人会員への振込用紙での協力依頼を行った。	通年実施 会員数:57人 会費額:293,000円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。 なお今年度は戸別訪問を実施せず、地区事務局での窓口受領とした。	11月・12月 募金額:426,000円

⑧上馬地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,242,155円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催)5月 運営委員会(2回、うち書面開催1回) 役員会(1回)

<p>地区課題解決事業</p>	<p>会費の用途について地域住民の理解が広まるよう、住民のニーズに対応した地区課題の解決につながる行事や居場所づくりを実施するための実行委員会を立ち上げ、事業化に向けて検討した。</p> <p>昨年度に引き続き、アンケート調査から見えてきた地区の課題を整理し、新型コロナウイルス感染拡大を受けて多世代交流事業に代わる代替事業を検討し、NPO 法人や駒澤大学の協力のもと、高齢者の ICT 活用を促進するための講座を企画した。講座開催にあたり、スマホに対する高齢者のニーズを把握することができた。</p>	<p>・12月12日(日)【中止】 多世代交流事業</p> <p>・3月7日(月)【中止】 「シニアのためのスマホ講座」 10:00～午前の部 14:00～午後の部 講師：せたがやすまほ研究会 協力：駒澤大学 参加者：合計31人</p>
<p>地域福祉推進員研修</p>	<p>・座学：平均寿命が延び高齢化率の高まる今日において、区民にとって身近なものとなっている認知症について学ぶために、令和2年10月に施行された「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」に関する研修を実施した。</p> <p>・バス研修：多世代交流や生活困窮者の先進的な取り組みをしている施設の見学を企画した。</p>	<p>・座学：11月5日(金) 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例～知ろう！語り合おう！一緒に動き出そう！」 講師：大熊由紀子氏 中澤まゆみ氏 世田谷区認知症在宅生活サポートセンター 参加者：31人</p> <p>・バス研修：10月【中止】</p>
<p>住民学習会</p>	<p>コロナ禍において児童虐待が増加傾向にあり、令和2年4月に開設された世田谷区児童相談所と連携を深めている東京育成園から、社会的養護と児童養護施設の役割や里親制度等について学び、住民としてできることを考える機会となる学習会を実施した。</p>	<p>・2月14日(月)【Zoom開催】 「家庭を必要としている子どもを支えるしくみ～社会的養護と児童養護施設の役割～」 講師：東京育成園 参加者：18人</p>
<p>ふれあい交流事業</p>	<p>多世代の地域住民が交流できる機会をつくり、事業を通して学生ボランティアや関係機関とも平時から顔の見える関係づくりのほか、若い世代への防災や防犯に関する普及啓発の場の提供を企画した。</p>	<p>9月【中止】 内容：小動物ふれあい交流会 会場：小泉公園</p>
<p>広報事業</p>	<p>広報紙を発行して地区社協のPRや事業報告を行うとともに、住民から協力を得た社協会費の用途を報告した。</p>	<p>上馬地区社協リーフレット (2500部) 上馬地区社協だより(第12号)</p>
<p>見守り活動事業</p>	<p>日常生活の不安軽減と住民同士のつながりづくりのきっかけとなるように、命のバトン事業を強化継続した。</p>	<p>命のバトン事業 登録者数：277人 203世帯</p>
<p>社協会費募集活動</p>	<p>組織基盤強化と地区社協への周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。</p>	<p>通年実施 会員数：36件 会費額：625,000円</p>

歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11・12月 募金額：1,162,400円 件数：594件
------------------------	---------------------------	-------------------------------------

(2) 北沢地域

①梅丘地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,347,861円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会等の開催を通じて、地区社協の円滑な運営を行った。	総会準備会・総会(書面開催) 役員会(5回) 運営委員会(6回)
広報・PR事業	区社協事業のPRのために梅丘地区社協だより「みちしるべ」を作成した。新型コロナウイルスの感染症拡大防止を図りつつ活動している様子を紹介した。	第26号3月15日発行
エリア別交流事業 ・高齢者交流会	地区を5つのエリアに分けた交流会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	【中止】
地区活動団体との協働事業	例年は地区内の小学校の夏まつりに助成し、PRを兼ねて出展していたが、今年度は夏まつり中止に伴い助成・出展も中止。 花見堂小学校跡地に新設された、花見堂複合施設のオープニングイベントに参加し、広報紙等を配布してPR活動を行った。	7-8月 小学校の夏まつり【中止】 2月19日 花見堂複合施設 オープニングイベント
世代・地域交流支援	見守りネットワーク事業支援として、見守りあんしんのお手紙を作成し、関係団体等を通じて配布した。また、梅丘地区見守りネットの会と協力して見守りあんしんシートを作成した。 新型コロナウイルス感染症拡大による生活支援及びフードロス削減の取り組みとして、新たにフードドライブを実施した。	5-6月 ・見守りあんしんシート ・見守りあんしんのお手紙 配布 1月17日 フードドライブ(食材募集) 1月20日 フードドライブ(食材配布)
福祉学習支援	城山小学校の授業の一環として、4年生を対象に例年より規模を縮小して実施した。山崎小学校の授業・地区イベントでの福祉体験は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止した。	10月15日 城山小学校 4年生(車いす体験)
地域福祉推進員 研修会	地区社協の活動の充実を図るため研修会を開催した。 Part1は推進員のみを対象に、認知症の地域支援をテーマとして講座を実施した。Part2は地区住民も対象に企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	12月16日 Part1 「世田谷区アクション講座」 2月22日 Part2【中止】 「今すぐ始める 生前整理と収納術」
社協会費募集活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別訪問による集金は中止した。強化月間は設けず、通年募集であることを周知した。	通年実施 会員数：785件 会費額：571,600円

歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力した。コロナ ウイルス感染症拡大防止のため、個別訪問に よる集金は中止した。 高齢者・障害者等を在宅で介護する方々に対 し、「歳末お見舞いのお手紙」を作成し、民 生委員と協力して配布した。	11・12月 件数：835件 募金額：483,300円 ・歳末お見舞いのお手紙 配 布
------------------------	---	---

②代沢地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 963,294円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会の開催等を通じて、地区社協の円 滑な運営を行った。	総会(書面開催) 役員会(6回) 運営委員会(5回)
広報事業	地区社協事業のPRのために、広報紙を作成 した。また、PR物品をイベント等で配布した。	年2回発行 第31号9月25日800部 第32号3月25日5,500部
地区交流事業	①高齢者交流会「地域でつどいましょう」 「サロンだいざわ」 ②多世代交流会「わなげ交流大会」「新春た こあげ会」	①、②【中止】
地域活動支援事業	地域で必要な活動支援について、社協の食の 支援への協力や見守りについて取り組んだ。 ①見守りあんしんカードの配付 ②見守りカードの作成《新規》 外出時もしものときに緊急連絡先がわかる よう携帯できるカードを作成した。	見守りカード作成2,000枚
助成事業	地域カフェ2か所に助成を行った。新型コロ ナウイルス感染症拡大防止のため中止とな った助成予定の地区内事業(こども会事業、 代沢芸術祭、クリスマスコンサート)につい ては、助成も中止した。	地域カフェ2か所に助成
推進員研修会	「認知症とともに生きる希望条例について」 をテーマに認知症への理解を深め、認知症に なってからも誰もが自分らしく希望を持っ て暮らすことのできる地域共生社会につい て考える懇話会を予定したが、新型コロナウ イルス感染症拡大防止のため中止した。	【中止】
社協会費募集活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 特に強化月間は設けず、社協会費の募集を行 った。	通年実施 会員数:1,341人 会費額:906,380円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力した。	11・12月 件数:478件 募金額:770,250円

③新代田地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,004,287円)

事業名	内容	成果
-----	----	----

地区社協運営	総会の開催や運営委員会の適宜開催等を通じて、地区社協の適切な運営を行った。	総会（書面開催） 運営委員会（5回）
広報活動 ・NEW☆DAITAの発行	「そらまめ交流会」「見守りあんしんカード」等の地区社協事業の取り組みについての紹介及び、「美まもりやまカフェ」等地域活動の支援について広く住民に伝えるため、広報紙を作成した。	第30号 3月1日
地域交流事業	詐欺防止の啓発落語、手芸、コーラスを楽しむことによって参加者同士の交流を深めることを目的として実施予定だった。代替え交流事業として「美まもりやまスポーツタイム」を実施した。	【中止】 ※代替え交流事業として「美まもりやまスポーツタイム」を開催
そらまめ交流会	羽根木プレーパーク内「そらまめハウス」で遊びや季節の飾り作りを楽しみながら、育児の悩みを聞いたり、経験談を伝えたりすることを通して、地域と子育て世代の自然な交流を図った。（7、10、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	7、10、3月 【中止】 12月10日 参加者：15人 クリスマスの飾り作り
サロン・ミニデイ等 連絡会	地区内のサロン・ミニデイ関係者等を招き、情報交換を行う連絡会と活動のPR及び参加促進を目的とした「サロン・ミニデイ文化祭」を開催予定だった。代替えとして地区社協だよりでグループの近況報告等の記事を掲載し、周知に努めた。	連絡会 第1回、2回 サロン・ミニデイ文化祭【中止】
地域福祉推進員研修会	成年後見制度の理解を深めるため、研修会を実施予定だった。	2月15日【中止】
音楽秋彩（あきいろ） 交流会	下北沢成徳高校ミモザホールで、地元にはゆかりのある方々による、多彩な演奏を楽しみ、世代を超えたまちぐるみの交流会を実施予定だった。代替え交流事業として「美まもりやまスポーツタイム」を実施した。	12月6日【中止】
社協会費募集活動	組織基盤強化と地区社協活動への周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数：27人 会費額：500,800円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11・12月 募金額：512,000円

④北沢地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 709,775円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会の開催等を通じて、地区社協の円滑な運営を行った	総会4月 役員会（6回、うち1回書面開催） 運営委員会（4回、うち1回書面開催）

多世代交流事業	百人一首(坊主めぐり)、トランプ(ババ抜き)、どっちボール(玉入れ)等を通じて多世代交流を深める。	7月【中止】
高齢者交流茶話会	高齢者が歌・演奏・体操等を楽しみ、地域のつながりを深める。	3月【中止】
歩こう会	一緒に歩き交流し、地域のつながりを深める。コロナ禍の感染状況から近場の羽根木公園で検討し実施を11月に実施した。	2月【中止】
高齢者バス交流会	遠出することが困難な方を対象として、地域の高齢者がバスを利用して外出し、交流を深める。	9月【中止】
地域福祉推進員研修会	研修を通じて地域福祉推進員の資質向上を図る。改めて役割や社会福祉協議会の活動を知り、地域の助け合いを考える。	2月【中止】
広報事業	「北沢地区社協だより」を発行し、地区社協による福祉活動の周知を図った。	発行日:3月31日 発行数:1,500部
地区活動団体事業賛助	1. 青少年北沢地区委員会主催事業 (青少年地区委員会主催) 2. ミニコミ紙「きたざわ」発行 (ミニコミ紙「きたざわ」編集委員会) 3. 北中ひろば主催事業	団体の活動休止により賛助金配布を中止
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を実施した。例年の募集強化月間(7月~8月)ではなく感染状況が落ち着いた11月に説明会を実施し、台帳配布を実施した。	通年実施 会員数:876人 会費額:740,500円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:175,500円

⑤松原地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,205,869円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、推進委員会を開催し、地区社協の円滑な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(4回) 推進委員会(1回)
広報・啓発活動	<p>●広報紙の発行《年2回発行》 特別・法人会員への会費振込用紙送付に合わせ、9月に新会長の紹介、社協会費募集記事を掲載した9月号を発行した。3月に令和3年度特集号として、新型コロナウイルス感染症蔓延下にて、感染予防等の取り組みや事業等の紹介をおこなった。</p> <p>●「松原あんしんカード」を作成し、ココロンマグネットと一緒に配布し、困ったときに社協へ相談いただけるよう普及啓発に努めた。</p>	<p>松原地区社協だより カラー、A4両面 9月号1,500部発行 3月号1,500部発行</p> <p>松原あんしんカード 9月より順次配布開始</p> <p>地区事務局だより「松原ポスト」毎月発行</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●メールマガジン、地区 HP、毎月発行の事務局だよりを通し、社協の PR、周知に努めた。 	
だれでもベンチ	高齢者、障害のある方等誰もが外出途中に気軽に休息できるベンチの設置、移転、既存ベンチの保存に努めた。	設置状況 11 台 (令和 3 年度移転 2 ヲ所)
地域福祉推進員研修	<p>これからの地区社協の役割や活動視点の共有化に向けた研修を実施。第 2 回は災害弱者支援講座と同時開催</p> <p>第 1 回：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>第 2 回：災害弱者支援講座と合同開催</p>	<p>第 1 回⇒中止</p> <p>第 2 回 12 月 13 日 会場：梅丘パークホール 参加推進員：24 人</p>
地域交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ●歩こう会 身近なまちづくり推進協議会・健康づくり部会と地区社協が主催で歩こう会を実施し、区民の健康増進に努めた。 (春) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (秋) 「即位記念パレードの道を巡り、新国立競技場へ」 ●まつばらデイキャンプ (協力) 例年、松原小学校にて昔あそびや雑巾がけレースをおこない多世代交流をおこなう。 令和 3 年度は複合施設建設中のため中止 ●ふれあい小動物ひろば 子どもから高齢者まで小動物にふれあう機会を作り、多世代交流だけでなく、地区内の障害者施設と連携し交流する等を目的に開催しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ●災害弱者支援講座 「障害児の理解と対応について ～セータとガーヤの気持ち伝え隊講座～」を実施。 世田谷区手をつなぐ親の会へ講師を依頼し、寸劇や体験等わかりやすく、また親としての具体的事例や思い等もお話いただきながら知的障害者への理解を深めた。 ●地域交流バスツアー 単身高齢者や引きこもりがちな高齢者、障害者やその家族と、島忠ホームズ仙川店までフレンドバスで行き、買い物や交流を楽しむことを目的に開催しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ●松原落語会 	<p>(春) 4 月 24 日 (土) ⇒中止 (秋) 11 月 6 日 (土) 参加者 50 人</p> <p>10 月⇒中止</p> <p>【中止】</p> <p>12 月 13 日 (月) 会場：梅丘パークホール 参加者：34 人</p> <p>【中止】</p> <p>【中止】</p>

	<p>朝顔教会にて、地域住民相互の交流や地区社協への理解を深めることを目的に落語会を開催しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。</p> <p>●松原小学校 昔あそび（協力） 2年生の授業にて折り紙、あやとり、お手玉、けん玉、コマの昔あそびを通し、地域の方と多世代交流をおこなっているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止</p> <p>●多世代交流活動 おでかけひろば@あみーごの参加者と昔あそびを通して交流を図る。</p>	<p>【中止】</p> <p>【中止】</p>
地区活動支援	<p>地区内の各種活動に助成し、多様な福祉活動を支援</p> <p>①夏季ラジオ体操 ②松原教育活動サポート ③世田谷子ども食堂 ④おとこ塾 ⑤子ども福祉講座</p>	<p>①1町会のみ実施（他3町会中止） ②～③【中止】 ④おとこ塾講座2回（1月、3月）実施 ⑤子ども福祉講座（8月）</p>
生活困窮者 緊急サポート	<p>①民生委員の協力のもと、行政サービスが利用できるまでの間、必要な食料品等を提供する。</p> <p>②長引くコロナ禍で生活に困っている方を支援するため、松原地区にてフードドライブを実施した。</p>	<p>①希望者 なし ②松原地区フードドライブ（食の支援） 物品お渡し会実施 12月15日（水） 会場：松原ふれあいの家 来場者：14人（別日対応2人含む）</p>
社協会費募集活動	<p>組織基盤強化と地区社協活動の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行う。今年度は、戸別訪問を自粛し、特別会員、法人会員へ振込用紙を送付し協力を依頼した。</p>	<p>通年実施 強化月間、戸別訪問の実施なし 会員数：91人 会費額：514,112円</p>
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	<p>区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。</p>	<p>2町会戸別訪問 2町会個別訪問実施なし 件数：746件 募金額：769,937円</p>

⑥松沢地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 988,704円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	<p>役員会で大まかな概略を協議、運営委員会でさらに諮りながら決定した。</p> <p>まちの福祉課題等を協議し、課題緩和・解決に向けて検討した。</p>	<p>総会 4月12日（月） 運営委員会（7回、うち3回書面開催） 役員会（7回、うち1回オンライン開催）</p>

地域交流主催事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業の中止、休止、一部制約を行った。</p> <p>①おしゃべり★カフェ ②おしゃべり★カフェ アンキミカ ③地域福祉推進員等懇談会 ④地区社協まつり ⑤子育て支援講座(④と同日開催予定) ⑥高齢者バス交流会 ⑦お楽しみ会 ⑧高齢者映画のつどい 会場:日本大学オーバルホール ⑨生活応援広場(新規事業) ⑩ベンチ設置</p>	<p>①昨年度から休止。参加者あてに三者連携で手紙を作成し、様子を伺う。 ②毎月第一火曜日 9回 ③～⑧【中止】 ⑨松沢地区で生活にお困りのひとり親家庭および学生を対象とし、希望者に食糧品、日用品を配布。全2回開催し、61人に配布。 ⑩通年5ヶ所</p>
中高生ボランティア活動賛助事業	<p>①中学生の老人ホーム訪問支援 ②中学生の普通救命救急講習会 a 緑丘中学校 b 松沢中学校</p>	<p>①全4回開催 11月6日(土)11月20日(土) 12月4日(土)12月18日(土) ②【中止】</p>
地域福祉活動賛助事業	<p>地域福祉活動に対する賛助を通じて松沢地区内の福祉活動の拡充への貢献と福祉のまちづくりを推進した。</p> <p>①介護者のつどい(4回) 共催:松沢あんしんすこやかセンター 内容:介護に役立つ情報と茶話会 ②小エリア交流会 ③松沢中学校外側道路花壇整美活動 ④松沢地区交流会への協力 ⑤福祉学習 a 赤堤小学校 b 松沢小学校</p>	<p>①全4回開催 6月29日(火)8月31日(火) 11月30日(火)3月30日(水) ②全3エリア実施 桜上水5丁目「さくら」 3月3日(木) 桜上水4丁目町会さくらんぼサロン 3月17日(木) 松沢さくら会 3月22日(火) ③全6回 6月8日(火)7月13日(火) 7月20日(火)9月17日(金) 11月16日(火)3月8日(火) ④【中止】 ⑤a 車いす体験 10月13日(水) 白杖アイマスク体験 10月25日(月) b 福祉講話 1月13日(木) 車いす体験 1月19日(水)</p>
広報活動	<p>地区社協の事業紹介や地区内の福祉情報等を掲載した広報紙を作成し、町会・自治会の協力のもと、回覧板・掲示板にて啓発を図った。また、リーフレットを社協会費募集及び各事業等で配布し、地区社協PRを行った。</p>	<p>①参加見合わせ ②通年(年2回発行)、 第37号8月発行2,000部 第38号2月発行1,000部 ③町会回覧、広報掲示板等で周知し、希望者に配布。</p>

	地区内のイベント等に参加し、楽しみながら啓発を図り、理解を広めた。 ①ふれあいサンデーへの参加 ②広報「まつざわ」の発行 ③見守りあんしんカードの作成	
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員:312人 会費:837,200円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月17日～12月17日 件数:1,135件 募金額:1,554,840円

(3) 玉川地域

①奥沢地区社会福祉協議会 (令和3年度収入決算額 1,356,157円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、正副会長会、役員会、運営小委員会、運営委員会、研修担当者会議、広報委員会等を開催し、地区社協の円滑な運営に努めた。 ※夜間意見交換会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度開催とした。	総会：1回(書面開催) 正副会長会：2回 運営小委員会：3回 運営委員会：2回
広報事業	・地区内の福祉情報や地区社協事業のPRのために「おくさわココロン」第43号・第44号をカラー印刷で作成、配布した。 ・配布用として、リーフレットを刷新し、作成した。	年2回発行(カラー印刷) 第43号:2,000部 第44号:2,000部 リーフレット:1,000部 広報編集会議(6回)
福祉啓発・健康増進事業	①インボディ測定会 ②奥沢地区祭礼 出展 ③歳末インボディ測定会開催 ④新春奥沢地区まつり 出展 ⑤ココロン椅子の設置(通年)	①②④【中止】 ③3月20日実施(2部制各回30人) 会議1回 ⑤47脚設置(24ヶ所) R4.3.31現在
福祉学習推進事業	①福祉学習の実施(ブラインドウォーク体験・点字器体験・車椅子体験) 下記2校の4年生を対象に車いす、白杖利用者への介助や配慮することについて説明と点字学習を行った。 *奥沢小学校(1日間) *東玉川小学校(1日間) ②小学生福祉体験見学会	①奥沢小:10月29日(金) 東玉川小:12月13日(月) ②【中止】
福祉活動団体賛助事業	福祉活動団体賛助 既存の福祉団体や地域活動団体等への賛助による支援を行った。	・小学校・中学校PTA(3校) ・ふれあいすこやか会 ・青少年奥沢地区委員会 ・奥沢新春地区まつり
研修事業	推進員研修会の開催 ○座学研修の開催 ・奥沢あんしんすこやかセンターの	12月17日(金)16人 ※奥沢まちセン活動フロア 研修担当者会議:1回

	<p>コロナ禍の取り組みや認知症希望 条例、ACPについて</p> <p>○バス研修：新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため、中止</p>	
子育て支援事業	<p>○小委員会を適宜開催し、事業内容の検討を 行った。</p> <p>○おでかけひろばおりーぶへ訪問し、アンケ ート調査を行った。</p> <p>○「ポッチャで遊ぼう！in 東玉川 ふれあいルーム」を開催し、小学生や 保護者へ子育て支援事業の取り組み PR を 行った。</p>	<p>小委員会：6回</p> <p>11月24日(水)24人 3月27日(日)24人</p>
地区課題支援事業	<p>○奥沢交和会・東玉川町会・奥沢地区ごみ減 量リサイクル推進委員会と共催で、地区の 方より食品の寄付を募った。</p> <p>○寄付いただいた食品は奥沢地区内の必要 な方へ配付をした。</p>	<p>食品募集： 7月18日(日)・19(月) 12月12日(日)・13(月) 食品配付：8月～3月</p>
社協会費・歳末募金事 業	<p>①社協会費募集 (社協会費募集・打ち合わせ会開催)</p> <p>②歳末たすけあい地域支えあい募金の募集</p>	<p>①通年実施 会員数：294人 会費額：1,164,700円</p> <p>②募集：12月 募金額：717,000円</p>

②九品仏地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 811,955円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	各種会議体等での議論を通じて、地区社協の 適正な運営に努めた。	総会(書面開催) 役員会(1回) 運営委員会(2回)
広報事業	「地区社協だより」の発行	年12回発行 各回約1,200部発行。 町会回覧及び事業所等へ配 布。 広報担当者会議を適宜実施。
ふれあい事業	①ふれあい交流会 ②お楽しみ交流会 ③高齢者日帰りバス交流会	①シニアのための一歩先行く スマホ講座 参加者10人 ②、③【中止】
学びあい事業	①地域福祉推進員研修 ②福祉学習(八幡小4、5年生) ②福祉学習(玉川聖学院 中学1年生)	①地区社協の成り立ちと意 義、玉川地域社協の組み 組みについて 参加者15人 ②八幡小学校 ・6月29日 5年生 白杖体験、認知症について ・12月6日 4年生 車椅子、白杖体験 ③玉川聖学院

		・10月15日、22日 1年生 高齢者擬似体験(10月15日)、 認知症について(10月22日)
支えあい・助けあい事業	①子どもの救命講座(未就学児の母親を対象とした講習) ②新春もちつき大会(出店)(淨真寺参道でフランクフルト販売) ③小動物ふれあい交流会 ④青少年地区委員会との連携・支援事業 ⑤地域との連携事業 ⑥福祉施設関係(障害者施設)への支援事業	①～③【中止】 ④八幡中 立青式、C組支援 ⑤地区の防災活動支援 ⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止のためボランティア派遣中止。情報共有による連携を実施。
福祉マップ事業	安全安心【防災】マップ(表)・お出かけ支援マップ(裏)作成(改訂は隔年)・検討・配布	安全安心マップ・お出かけ支援マップを作成。青少年地区委員会事業で活用。
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:431件 会費額:797,450円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	12月 募金額:1,205,478円

③等々力地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,313,372円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会等を開催し、地区社協の円滑な運営を行う。	総会(書面開催)4月24日 広報・企画委員会・役員会(5回) 運営委員会(中止)
高齢者交流事業	お茶会を開催し、身近な場所で高齢者相互の交流を図る。	【中止】
広報事業	広報紙(地区社協だより)の発行や、PRグッズ等を配布し、地区社協活動のPRに努める。	・地区社協だより年3回発行 ・PRグッズ配布 町会事業の際、ウェットティッシュ20個、折り紙50個配布。
青少年事業	①青少年地区委員会事業に協力し、児童・青少年の健全育成を支援する。 ②子育て課題の解決のため、子育てネットワークを強化していく。	①【中止】 ②子育て関係団体交流会の開催 参加者14人 ・等々力地区子育ておでかけ情報の発行の検討。
福祉啓発事業	①地区内の小中学校で、福祉学習を実施し、福祉への理解の醸成に努める。 ②等々力児童館こどもまつり 「あそべ村」運営手伝い、地区社協PR	①物品貸出にて対応 玉堤小学校:折り紙80個、 等々力小学校:折り紙122個 配布。 ②10月31日 折り紙100個配布
研修事業	地区社協活動の充実を図るため、研修会を実施する。	【中止】

まちづくり支援事業	地域イベントへの参加・協力をを行い、住民と交流を図り、社協のPRに努める。 ①地域事業への賛助による支援 ②歩こう会 ③等々力溪谷たけのこ掘 ④等々力農振会 朝市(6月・12月) ⑤等々力溪谷七夕かざり作り ⑥等々力溪谷みかん狩り	①身近なまちづくり推進事業等々力溪谷保存会 ②【中止】 ③【中止】 ④合計ウエットティッシュ280個配布 ⑤【中止】 ⑥ウエットティッシュ15個、折り紙25個配布。
福祉推進事業	地区内の福祉推進を図るため、事業の後援や講座を開催した。 ①尾山台フェスティバル ②高齢者いきいき講座 ③高齢者お楽しみ交流会 ④生活に困窮している世帯を支援することを目的とした、食で応援プロジェクトの開催。 ⑤地域のゆるやかな見守りの促進	①中止 ②中止 ③栄養講座 参加者17人 ④デイホーム等々力横：2回 玉堤地区会館：1回 ⑤見守りパンフレットの作成について検討
社協会費募集活動、歳末たすけあい地域支えあい募金活動に関する事業	社協会費募集活動、歳末たすけあい地域支えあい募金活動に取り組んだ。	会費事務 歳末事務 町会事業支援 会員数：573人 会費額：663,500円 募金額：723,977円

④上野毛地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,136,255円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	①総会、役員会を開催し、適切な地区社協運営に努めた。 ②地域福祉推進員研修会	①総会(書面開催) 役員会・運営委員会(5回) ②【中止】
広報に関する事業	①「地区社協だより」の発行 ②上野毛おでかけマップ「わくわく」の配布・更新 ③広報紙・チラシ等設置協力店の拡大 ④地区内イベントにて広報紙・PRグッズの配布。	①年2回発行(12月・3月) ②地域活動45グループ掲載 ③18ヶ所 ④【中止】
福祉推進に関する事業	①ふれあいサービス産前産後協力会員説明会の開催 ②あんしんカードの配布・更新・困りごとアンケートの実施 ③福祉学習支援活動 ④人材発掘・育成支援 (1) 男のスマホ講座 (2) 男のスマホマスター講座 (3) 男のスマホ交流会 (4) エリア別スマホ講座	①【中止】 ※個別対応(登録者1人) ②134世帯171人利用中 ③中町小学校にて ・4年生(3クラス86人) 11月1日事前学習、白杖・アイマスク体験 ・5年生(3クラス103人) 3月4日高齢者についての話 ④(1)11月17日、24日

	上野毛エリア（上野毛まちセン）、 野毛エリア（野毛区民集会所）、 中町エリア（中町ふれあいの家）にて開催。	参加者 10 人 (2) 12月2日、8日、15日、23日 参加者 8人 (3) 2月3日 参加者 8人 (4) 上野毛 2月2日【中止】、3月8日参加者 9人 野毛 3月11日参加者 4人 中町 3月30日参加者 10人
ネットワーク支援に関する事業	①ご近所見守りネットワークの運営支援 ②青少年健全育成事業への助成 ③上野毛地区支えあい事業 (1) 子育て関係団体ネットワーク交流会 (2) 農作業を通じた居場所づくり (3) 食で応援プロジェクト	①マルシェの中止 ②賛助金の交付 ③(1) 10月29日参加者 16人 (2) 11月4日 さつまいも掘り参加者 5人 (3) 2月25日 じゃがいも種芋植え 参加者 2人
社協会費募集活動、歳末たすけあい・地域支えあい募金活動に関する事業	戸別訪問を中止とし、実情に応じて対応を行った。	会員数: 83人 会費額: 631,200円 募金額: 1,036,501円

⑤用賀地区社会福祉協議会 (令和3年度収入決算額 1,299,848円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、事業打合せ等を開催し、適正な地区社協運営に努めた。	総会（書面開催）4月23日、役員会（1回） 運営委員会（3回書面開催）
広報・PR啓発活動事業	①「地区社協だより」を発行し、地区社協活動のPRに努めた。 ②啓発物品の配布	①年3回発行 6・11・3月 各1,000部 ②【中止】
地域福祉推進事業	1. 子ども関係事業 (1) 赤ちゃんこどもの講習会 オンライン講座を2回開催 ①子育て世代向けの防災講座 ②離乳食講座 (2) 福祉学習 小学校へグッズの貸出 (3) 地域イベント(YCC等)	(1) 9月4日開催 15組参加 2月15日開催 4組参加 (2) 用賀小学校(12月6日) 白杖、高齢者疑似体験グッズ貸出 ・桜町小学校(10月29日) 車いすの貸出 (3) 【中止】
	2. 高齢者関係事業 いらか道ウォークラリーを開催し、独居高齢者等の交流を図った。	10月19日開催 16人参加
	3. 障害者関係事業	第3木曜日開催

	スペース 2020 を月 1 回開催し、心に悩みを抱えた方でも集まれる居場所づくりを行った。	(令和 3 年 5 月、6 月、令和 4 年 1 月、2 月は休止) 毎回 5 人参加
	4. 地域連携事業 (1) 食で応援プロジェクトの開催 生活困窮者世帯への支援 (2) 健康貯金スタンプラリー 外出、交流機会の創設	(1) 第 4 日曜日開催 (2) 随時開催 毎参加者 50 人前後
地域見守り事業	①あんしんカードの配布 ②ネットワークづくり 見守りネットワーク勉強会や座談会は中止となった。	①あんしんカード 利用者 444 人 ②【中止】
人材育成事業	1. 各種講座 (1) 地区サポーター懇談会 地区内で登録している地区サポーターの交流会を実施 (2) 認知症サポーター養成講座 (3) 普通救命講習会 (4) ふれあいービス協力会員登録会 2. 研修 (1) 地域福祉推進員研修「成年後見制度勉強会」を予定していたが、中止。	(1) 3 月 25 日開催 参加者 9 人 【中止】 【中止】 【中止】 【中止】
地区活動助成	地区内活動団体への助成	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:125 人 会費額:888,500 円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:529,002 円

⑥二子玉川地区社会福祉協議会 (令和 3 年度収入決算額 1,241,442 円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会、運営委員会等を開催し、地区社協の適正な運営に努めた。	総会(書面開催) 役員会(1回) 運営委員会(2回) 子育て事業検討会(3回)
地域見守り事業 「あんしんカード」	地区内在住の一人暮らし及び高齢者世帯の方等を対象に「あんしんカード」の配付を行った。	あんしんカード 新規配付者 17 人 合計 279 人
地域見守り事業 「食で応援プロジェクト」	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い生活に困窮している方等の支援を目的に、食で応援プロジェクトを実施した。	・ロイヤル介護入居相談室(1回) ・天理教玉瀬分教会(2回)

地域見守り事業 「みまもり応援 隊プロジェクト」	見守り体制づくりを目的に周知活動と、登録事業 所を対象に現状分析と活動の充実を図る目的にア ンケート調査を行った。	みまもり応援隊プロジェク ト(ガイドブック、シール配 付)
シニア関係事業 「シニアの居場 所づくり」	Smile ひろば(公営住宅の居場所支援) ①アンケート調査 ②スマホ講座 ③ラジオ体操 ④音読・朗読会 ⑤緑化活動 ⑥おはなし会(多世代交流) ⑦ボランティア交流会 ⑧地域交流・支えあい活動検討会 ○桜の木の下で(コロナ禍における居場所づくり)	区営玉川3丁目アパート ①12月16日 ②10月4日、11月1日 ③毎月第3木曜日 ④10月25日 ⑤11月18日、11月21日 ⑥11月21日 ⑦1月20日 ⑧3月11日 ○天理教玉瀬分教会 11月23日、3月29日
シニア関係事業 「シニアのコロ ナ禍フレイル予 防」	シニアの食支援プログラム ①玉川エリア ②瀬田エリア	①4月13日、12月14日 ②【中止】
シニア関係事業 「おやつカフェ」	①世話人募集 ②打合せ	①町会回覧 ②1月19日、2月16日【中 止】3月8日【中止】
シニア関係事業 「体操交流会」	瀬田エリアにおける運動の機会づくり	10月～毎月開催 会場：瀬田地区会館
子ども関係事業 「みんなでつく る福祉学習プロ グラム」	地区内の小学校で、福祉学習を実施し、福祉への理 解の醸成に努めた。 1. 福祉学習ガイドブック作成 2. 福祉学習(物品貸出しにて対応) 車椅子、点字、障がい者の生活の様子DVD(ぼ一 とたまがわ作成協力) ・二子小学校(車いす体験、点字学習) ・瀬田小学校(車いす体験、点字学習) ぼ一と作成動画視聴	・7月13日、29日、8月27 日 ・9月 ・11月
子ども関係事業 「子育て関係事 業検討会」	①子育て関係事業検討会 関係団体等と連携を図り、コロナ禍における地区 状況の共有と、課題解決に向けた事業の検討を行 った。 ②見学等 ぬくぬくハウス見学会 児童相談所見学 ③おでかけマップ作成配布	①中止：4月30日、5月28 日、8月20日 実施：6月18日、10月22日、 3月4日 ② ・4月12日 ・2月25日(中止) ③町会回覧、各所配架 中学全校生徒配布
子ども関係事業 「子育て応援講 座」	中澤先生の子育て応援講座 会場参加、ZOOM開催	ロイヤル介護入居相談室 (毎月第4金曜日)

子ども関係事業 「子育てママのリフレッシュDay」	関係団体等と連携を図り、コロナ禍で孤独に出産、育児をしている親子の孤立予防等を目的に開催した。	中止：9月10日 実施：11月26日 会場：玉川台児童館
人材育成事業 各種講座	シニアの社会参加プロジェクト スマホ講座&地区活動入門講座	・4月3日 ・9月6日、13日、27日
	ACP&任意後見制度講座 講師：株式会社メディヴァ 桜新町アーバンクリニック 成年後見センターえみい	・9月28日 ・会場：二子玉川まちセン活動フロア
	成年後見センターとの連携事業 ①おい支度講座 ②成年後見制度相談会	①【中止】 ②11月25日
	地域福祉推進員研修	【中止】 ・アンケート調査実施のみ
地区社協啓発活動	地区で開催される事業等に参加し、地区社協のPRを行う。	【中止】
広報活動	地区社協の活動を広く周知するために、せたがや福祉区民学会で報告した。そのほか、広報紙等を発行した。	・せたがや福祉区民学会で報告 ・地区社協だより（2回） ・地区社協ニュース（4回） ・区報に掲載（1回） ・福祉専門職雑誌に掲載（1回） ・FM せたがや取材（1回） ・日経新聞社から取材（1回）
社協会費募集活動	実情に応じて対応を行った。	通年実施 会員数：120人 会費額：836,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	実情に応じて対応を行った。	募金額：68,810円

⑦深沢地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 2,334,926円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会、各事業担当者会議を適宜開催し、深沢地区社協の適切な運営に努めた。	総会 運営委員会（3回） 役員会（4回） 各分会（適宜）
青少年健全育成事業	青少年健全育成を目的に交流事業を開催 ①クリスマス会実施をサンタクロースからお菓子をプレゼントに変更して実施 ②クリスマス会支援を書籍贈呈に変更 ③赤ちゃん・こどもの救命講習会	通年 ①12月25日 ②12月9日 ③【中止】 ④【中止】

	④ポッチャ大会の実施 ⑤青少年地区委員会事業協力（子どもシアター中学生の主張大会）	⑤賛助未実施
高齢者見守り事業	高齢者を訪問し「深沢地区社協だより」を個別に配付することによる見守りの実施 ①安心カードの配付 ②深沢かいわい・お出かけマップ『わくわく』の配布（※広報事業と合同） ③ふれあい落語会を「スマホの入り口講座」に変更して実施	通年 ①随時 ②保留 ③1月26日・31日
研修事業	①地域福祉推進員研修 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例について」 ②住民向け研修 上級救命講習会等 ③住民向けのスポーツレクリエーションを通じた交流事業（協力・共催事業：世田谷スポ・レクネット） ④人生100歳時代応援講座	①11月12日 ②7月25日 ③10月24日、11月23日、12月19日 ④3月14日・28日
広報事業	①社協・あんすこ通信を発行 ②深沢かいわい・お出かけマップ「わくわく」の配布 ※高齢者見守り事業と合同	①4回発行（6, 9, 2, 3月） ②保留
会費・歳末募金強化事業	①会費募集の組織強化 ②歳末たすけあい・地域支えあい募金の地区啓発活動費・資材購入 ③募集に関わる事業	会員数:220人 会費額:2,182,400円 募金額:1,799,003円
地域活動連携・支援事業	①東深沢スポーツ文化フェスティバル支援 ②深沢小学校ぎんなんまつり支援 ③児童安全見守り・あいさつ運動支援 ④「こども見守りたい」との連携・支援 ⑤小・中学校で実施する福祉学習の支援 深沢小学校 ⑥花壇美化活動支援 ・桜町小 花の小径 ・深沢まちづくりセンター花壇 ⑦ラジオ体操 講習会 ⑧世田谷スポ・レクネット事業協力	①【中止】 ②11月28日 ③通年 ④通年 ⑤10月19日 ⑥桜町小 花の小径 6月1日、11月29日 深沢まちづくりセンター 一花壇11月5日、8日 ⑦3月7日 ⑧実施

（4）砧地域

①祖師谷地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 1,108,264円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会（書面開催）4月 役員会、運営委員会（6回）
高齢者バス交流会	外出機会の少ない高齢者に対し日帰りバス旅行を実施。	【中止】 部会：4回
すこやか講座	在宅で介護をしている方々向けに講演会を開催。	【中止】 部会：4回

夏休みファミリーの集い	親子、家族に対し映画会を実施。	【中止】 部会：4回実施
子ども用品交換会	不要になった子ども用品を持ち寄り必要な用品と交換する。	【中止】3月11日、12日で実施予定だったが、中止
推進員研修会	地域福祉推進員に必要な知識・技能の研修を開催。	【中止】2月4日に開催予定だったが中止
推進員、サロン・ミニデイ交流会	祖師谷地区のサロン・ミニデイスタッフと地域福祉推進員の交流会を実施。	【中止】 部会：2回実施
視察研修	日頃の活動に役立つように、区内の活動を見学	【中止】 部会：2回実施
いす・ベンチ設置事業	外出困難者への支援として、地区内に設置したいす・ベンチの維持管理と、作成した商店街における「だれでもベンチ・トイレマップ」を配布・周知した。	駅前広場の工事に伴いベンチを撤去 2月4日に一部椅子の買い替え設置
広報活動	広報紙にてコロナ禍での活動取り組みや会費募集等について発行や配布し、地区社協活動のPRに努めた。	広報紙発行：9月・3月 年2,000部発行
ふるさとフェスティバル参加	ふるさとフェスティバルに参加し地区社協のPR予定だったが中止となり参加せず。	不参加
地域敬老事業	過去3年間の会費納入実績に基づき12団体（敬老事業）に賛助した。	9月 地区内11団体に賛助
社協会費募集活動	戸別訪問での募集活動は実施せず、各町会・自治会の判断及び方法で募集活動を行った。	通年実施 会員数：383人 会費額：927,030円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問での募金活動は実施せず、各町会・自治会の判断及び方法で募金活動を行った。	11・12月 募金額：706,950円

②成城地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額966,666円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	定期総会(1回/年)や運営会議(基本:1回/月)等の開催を通じて、地区社協の適正な運営に努めた。	総会(書面開催)4月26日 役員会・運営委員会(10回)
広報活動	地区内の福祉情報や地区社協事業のPRのために広報紙「よりそい」を作成、配布した。	年2回発行 発行日：8月15日、3月1日
高齢者交流会	地区内の65歳以上の高齢者を対象とした日帰りバス交流会を実施予定としていた。	【中止】
推進員研修会	地域福祉推進員を対象とし、地区社協のこれからの活動や取り組みに役立つ学習会を開催した。	開催日：11月22日 内容：高齢者の見守りについて(消費者被害の手口等) 参加者：21人(事務局2人含)
地域敬老「長寿の集い」	長寿の集い(地区内の70歳以上の方を対象とするお祝い会)は、中止となったが、長寿のお祝い訪問(80歳以上の独居・高齢者の	【お祝い訪問】 実施期間：9月13日～随時訪問 申込者：25人

	みの世帯（申込者）へ、推進員が訪問しお祝いの品を届ける）を実施した。	
社協活動参加者交流会	成城地区内で活動しているサロン・ミニデイスタッフ、地域福祉推進員、ふれあいサービス協力会員、子育て援助会員、区民後見人等社協事業の参加者の交流会を開催する予定だったが、令和3年度は中止となった。	【中止】
懐かしの映画鑑賞会	成城まちづくりセンター活動フロアにおいて、懐かしの映画を上映した。	開催日：第4金曜 13:30～ 中止：4～10月、1、2月 開催：11月26日、3月25日
地域支えあい事業 成城スポット「よりそい」	外出が難しくなった高齢者等を対象に、外出の機会増を目的として茶話会を行った。	1回開催（12月14日） 参加者：19人（スタッフ含む）
バザー事業	活動費及び活動PRのためのバザーを行う。	【中止】
健康推進事業	健康推進と地域交流を目的とした事業。	【中止】
訪問ボランティア事業	外出が難しくなった高齢者を対象に、登録した囲碁将棋ボランティアが訪問する。	【中止】
子育て支援事業	子育て中の保護者や関係者に向けたリフレッシュ事業や交流を目的とした事業もしくは、地域住民向けの子育て理解を深める。	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	通年実施 会員数：32人 会費額：164,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額 1,239,864円 協力世帯 2,478世帯

③船橋地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 1,201,103円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会（書面開催）4月 役員会・運営委員会（7回）
地域敬老事業助成	船橋地区町会・自治会連合会に加盟する団体が実施する敬老事業へ賛助した。	9月 6団体に賛助
地域福祉推進員研修会	地域福祉推進員の知識の醸成に努め、地域へ情報還元する一助とした。 内容：新型コロナウイルスに負けないからだづくり～フレイルを予防しよう～	書面開催（3月） 全推進員108人に配付
船橋ふれあいまつり参加	ふれあいまつりに参加し、地区社協活動のPRおよび啓発を実施予定。	【中止】
高齢者交流会	地区内の高齢者を対象とした交流会を行う。顔見知りの関係づくりの重要性を伝え、見守り活動やサロン・ミニデイへの参加を促す。	3月27日 会場：カルチャーパビリオン平安世田谷 参加者：53人（スタッフ13人） 内容：落語、ビンゴゲーム、お弁当による交流

地区支えあい世代交流	①夏の交流会：交流と食事を控え、参加人数を制限したうえで雑巾作りのみ実施。作成した雑巾は例年通り地区内の高齢者施設等へ寄贈した。 ②地区支えあい世代交流 With 子どもぶんか村：子どもぶんか村との共催。フラワーアレンジメントで多世代交流を進めた。リモート参加も可。 ③昔あそび	①8月17日 会場：船橋地区会館 参加者：30人 寄贈先4施設 ②1月16日 会場：船橋まちセン活動フロア 参加者：31人 ③【中止】
船橋地区交流会	住民同士の交流会の開催を実施。	【中止】
広報啓発	①地区社協だよりを発行した。 ②事業開催の際、地区社協活動に対する理解促進と協力者募集のPRを行った。	①年2回発行（6月、3月）
船橋住みよいまちへの探建	現在設置しているココロン椅子のメンテナンス及び入れ替えを実施し、気軽な外出の一助とした。	千歳船橋駅前広場を中心にココロン椅子を設置
地域福祉団体助成	助成している事業が中止となった。	【中止】
健康推進事業	健康をテーマに講座の開催を実施	【中止】
社協会費募集活動	戸別訪問での募集活動は実施せず、各町会・自治会の判断・方法で募集活動を行った。	通年実施 会員数：1,179人 会費額：1,141,400円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問での募金活動は実施せず、各町会・自治会の判断・方法で募金活動を行った。	11月・12月 募金額：1,225,555円

④喜多見地区社会福祉協議会（令和3年度収入決算額 1,471,428円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会（書面開催） 運営委員会（6回）
高齢者懇親会（高齢者昼食会・お楽しみ会）	地区内の高齢者が、昼食や演芸等を共に楽しむことにより、閉じこもりの予防と交流を深めるために計画した。	【中止】
高齢者交流会	外出機会の少ない地区内の高齢者に、住民相互の交流や閉じこもり予防のために計画した。	11月29日 行先：箱根方面 参加者：38人
地区活動団体と協働して行う事業	地区内の活動団体が行っている事業に賛助 ①地域敬老事業 ②砧高協第4ブロック文化祭	①敬老のお祝い 対象者70歳以上※一部75歳以上 9町会・自治会約2,854人 ②【中止】
喜多見地区区民まつり参加	地区のお祭りに参加し、地区社協の活動を住民に知ってもらうため、PR活動を行う。	【中止】 まつり自体中止
サロン・ミニデイ、高齢者クラブ交流会	つながりの少ないサロン・ミニデイ、高齢者クラブ間の交流を深め、各活動の拡充を図るために計画した。	【中止】
広報・啓発活動	①地域福祉推進員活動の向上を目的として	①【中止】

	研修会の実施 ②事業の実施報告や広報活動を通じ、地域福祉活動の推進に関わる啓発活動	②広報紙 年一回発行(3月)
ふれあい交流会	地区内の3会場において映画会と茶話会を実施し、地区社協のPR活動と住民同士の交流を図るために計画をした。	【中止】
地区内福祉施設交流事業	地区内の福祉施設の事業等に協力し、施設と地区社協の相互連携を深める。	【中止】
見守り講座	見守りしやすいまちづくりと地区内の見守り力の向上を目指し、幅広い視点から学習機会を設定し、地域福祉推進を図った。	2月3日 会場：喜多見東地区会館 参加者：21人 テーマ：認知症とともに生きる希望条例を学ぼう
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数：2,257人 会費額：1,284,140円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額：778,100円

⑤きぬた地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 981,009円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(4回)
元気なうちに考えておきたい「老い支度」	住み慣れたきぬた地区でいきいきと生活していただくことを目的として、高齢者に対し、生活に役立つ講座を計画した。	【中止】
子育て支援事業	赤ちゃんとその両親を対象に親子体操でエクササイズ、ベビーマッサージ、子ども服・用品のリサイクルを目的とした交換会を計画した。	親子エクササイズ 日時：11月2日 会場：砧地区会館 参加者：16人 ※ベビーマッサージ、交換会は中止
地域敬老事業助成	各町会で実施する敬老事業の一部を助成した。	9月 7町会
地域福祉推進員交流会	地域福祉推進員を対象に、日頃の福祉活動に役立つ情報提供と地域福祉推進員同士の交流を目的に、研修とアンケート調査を実施する。	書面により開催した
ひとり暮らし高齢者交流会	地区内の普段外出の機会の少ない一人暮らしの高齢者を対象に、外出の場を設け、ご近所の顔見知りを増やし、交流を深めることを目的に計画した。	【中止】
高齢者地域交流会 「70歳からの交流会」	70歳以上の高齢者を対象に、身近な地域で参加できるように、砧、大蔵、岡本、それぞれの地区ごとに交流会を開催し、交流を深める。	【中止】

「地区社協だより」発行	広報紙「きめた地区社協だより」を発行し、広報・啓発活動を行った。	年2回発行 9月 3月
地区内事業参加協力	地区内イベントに参加し福祉を啓発する	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、地域福祉推進員の協力を得ながら、社協会費募集活動を行った。戸別訪問は原則実施せず、特別・法人会員を中心に会費募集活動を行った。	通年実施 会員数:594人 会費額:769,056円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。戸別訪問は原則実施せず、各町会・自治会の判断で集金活動を行った。	件数:793件 募金額:577,600円

(5) 烏山地域

①上北沢地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 872,690円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会:4回(対面2回、書面2回)
地区懇談会	新型コロナウイルス感染症の影響により、懇談会は中止となったが、日本大学の上之園先生の基調講演の資料と共に、発表予定団体(5団体)の資料に講評を合わせた物を各団体へ送付し、情報共有を行った。	・開催日:3月17日(木) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催 ・資料発送:3月25日(金)
高齢者お楽しみ会	新型コロナウイルス感染症の影響により、お楽しみ会は中止となったが、民生・児童委員より地区の高齢者へお手紙をお届けし、つながりの維持を行った。	随時お手紙をお届け
ふれあいのつどい	上北沢・八幡山にお住まいの方々の交流を目的にお楽しみ会を実施予定。	【中止】
地域福祉推進員研修会	地域福祉推進員をはじめ、福祉活動に携わる地区住民や施設・団体等の職員を対象とした研修会を実施予定。	【中止】
上北沢縁側プロジェクト「えんがわカフェ」	えんがわ通信の発行 コロナ禍でもつながりが維持できるよう、一昨年度のえんがわカフェ参加者へ「えんがわ通信」を発行し、地域住民よりご寄付いただいた手作りの楊枝入れと共に配付した。	えんがわ通信の発行 ・対象者:37人
お茶べり会	出張型の交流会兼相談会を実施予定。	【中止】
ココロンといっしょ	子ども関係施設と連携しながら、未就学児とその親向けの事業を開催予定。	【中止】
未就学児との交流事業	いずみの園保育園児と地域住民との交流に資する事業を行う予定。	【中止】
広報・啓発活動	区民に地区社協の周知を図るため、初のカラー印刷で「地区社協だより」を発行した。	《地区社協だより》 令和4年2月

社協会費募集活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、戸別訪問は原則中止とし、特別・法人会員のみに協力依頼を行った。	通年実施 会員数：64人 会費額：351,500円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、戸別訪問は原則中止とし、サロンやミニデイ等に協力依頼を行った。	11月・12月 募金額：20,050円

②上祖師谷地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,109,412円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催)5月17日 運営委員会3回(2回書面開催)
地域福祉推進員研修会交流会	コロナ終息後の実施に向け、地域福祉推進員に研修内容についてニーズ調査を行う。	【中止】
「ココロンの会」事業	秋晴れコンサートをFMせたがやで放送できるよう調整するが、収録が叶わず、翌年度に持ち越し調整を継続する。	【中止】
「おひさまひろば」への協力	祖師谷保育園で開催する乳幼児親子が気軽に立ち寄り、一緒に遊んだり情報交換をする「おひさまひろば」を、非接触で実施できないか検討した。	【中止】
「はびねすの会」	伝承遊びや食事会を通じて年3回(概ね3ヶ月に1回)、社会福祉法人 雲柱社 祖師谷保育園の園児と地域の高齢者の方々との交流を非接触で実施できないか検討した。	【中止】
エリア別懇親会・交流促進事業	社協会員に社協事業への理解を深めていただくため、地域福祉推進員の協力のもとエリア別懇親会・交流会を行った。 町会・自治会が行なう地域福祉に関するイベントへ助成した。	成城通りパークウエスト自治会「介護体操」 日程：第2・4金曜日 会場：パークウエスト集会室
地区での見守り事業	上祖師谷地区管内の町会・自治会・民生委員児童委員協議会・日赤奉仕団・上祖師谷まちづくりセンター・上祖師谷あんしんすこやかセンター・上祖師谷地区見守りネットワーク参加団体等と協力し、いのちのバトン事業や地区でのゆるやかな見守りを進めた。烏山地域3地区での様式の共通化を進めた。	いのちのバトン 利用者：482世帯 540人 (令和4年3月現在) 新規受付、情報更新の促進 いきいき講座 日程：11月25日 会場：上祖師谷神明社
ボランティア育成事業	これまで協力いただいた地区内の小・中学生を中心に、ハガキでつながるプロジェクトへの協力を呼び掛けた。 地区での活動を通じてボランティア意識と地区への関心・愛着を深めた。	地区内イベントの中止に伴い中止
上祖師谷地区社協懇談会	「子どもを地域で支える取り組み」について今後の取り組みの参考にするため地区内の保育園や小学校へアンケートを実施した。	【中止】

広報・啓発事業	会費募集に合わせて地区社協だよりを発行する。	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知を図りながら会費募集を行なった。	通年実施 会員数：15人 会費額：462,000円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	歳末たすけあい運動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額：690,000円

③烏山地区社会福祉協議会(令和3年度収入決算額 1,036,962円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 第1回運営委員会 4月20日 第2回運営委員会 3月15日
ココロンの演奏会 【ココロンの会】	地区内の高齢者を対象とした演奏会(消防庁音楽隊)を企画、実施予定。	【中止】
ココロンの研修会 【ココロンの会】	ココロンの会が行う事業や運営を円滑に行うため、福祉体験や講座等の開催を予定。	【中止】
買い物支援マップ【ココロンの会】	買い物をはじめ外出しやすい地域づくりに向け、食料品・日用品等の宅配を行う商店の情報を掲載した「買い物支援マップ」(昨年度作成)を配布。広く活用してもらえようPRを行った。改訂版を作成するため、商店会の協力を得て訪問調査を行った。	1. 協力店舗への配布 2. 会費募集時に会員へ配布 3. 関係機関(出張所、保健福祉課、あんすこ、地域障害者相談支援センター、子育てコーディネーター等)への周知
ベンチ設置に向けた事業【ココロンの会】	高齢者や障害のある方が買物や通院等の移動中に、一息つける場所へのベンチ設置を進める。	ココロンの会班長会 8月4日、10月12日 設置場所や管理方法を検討
地区社協講座	住民に役立つ福祉等の講座を実施し、地区内の福祉力向上をはかる。	【中止】
社協のつどい	地区内の各種関係機関のつながりの構築と地域への理解促進を目指し、住民同士での懇談会開催を予定。	【中止】
日赤・社協研修会	先駆的な実践を見学するとともに日赤奉仕団と地域福祉推進員の連携、地区社協の強化を図る。	【中止】
PR活動	地区のイベントに参加し地区社協PR及び社協会費増強に努める。	【中止】
広報啓発	会費募集に合わせ「烏山地区社協だより」を発行し、地区社協PRを行った。	発行日:3月1,600部発行
安心カード事業	「安心カード」の普及啓発に努めた。烏山地域で様式の共通化を進め、地域で統一しPRを行った。	利用総数:1,302世帯
安心して外出できるまちづくり事業	認知症の方が安心して外出できるまちづくりを目指し、認知症等について普及啓発を行った。	①安心カード、せたがやはいかいSOSネットワーク、高齢者見守りステッカー等認知症の方

		を支える支援を地区社協だよりにまとめて掲載 ②認知症への理解を深める啓発講座【中止】
社協会費募集	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために実施。新型コロナウイルス感染予防の為、戸別募集は行わず特別・法人会員を中心に会費募集を行った。	通年実施 会員数:54人 会費額:256,734円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金	新型コロナウイルス感染予防の為、戸別募集は行わず、歳末たすけあい運動に協力し募金活動を行った。	募金額:220,700円

別表4 「2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】」
関係

(1) 福祉相談の受付（相談件数と相談内容内訳）

身近な福祉の相談窓口等にて、まちづくりセンター・あんしんすこやかセンターとの三者連携により、住民からの相談を受け止め、解決に向けて対応した。

地域	地区	人口	相談内容内訳（重複有り）				相談件数合計
			高齢	障害	子ども	その他	
世田谷	池尻	24,039	38	12	13	63	110
	太子堂	23,784	126	5	15	74	217
	若林	27,165	38	9	5	47	98
	上町	53,859	94	8	30	53	178
	経堂	51,273	69	4	12	65	145
	野沢・下馬	42,974	88	4	18	33	128
	上馬	29,068	133	12	25	62	225
北沢	梅丘	28,381	36	7	3	58	91
	代沢	17,507	45	3	3	88	133
	新代田	25,535	26	6	3	72	104
	北沢	18,187	21	0	4	70	92
	松原	29,308	59	9	6	62	123
	松沢	33,920	43	9	3	66	111
玉川	奥沢	22,134	40	4	9	25	74
	九品仏	17,145	35	3	18	23	78
	等々力	39,728	74	1	9	20	104
	上野毛	33,425	52	6	16	20	84
	用賀	36,814	30	7	9	23	68
	二子玉川	27,557	12	0	3	13	28
	深沢	49,076	44	4	3	47	98
砧	祖師谷	26,736	157	2	19	49	202
	成城	23,239	123	6	28	54	204
	船橋	38,866	80	17	10	57	162
	喜多見	32,975	76	15	9	40	136
	砧	42,435	222	11	38	50	317
烏山	上北沢	24,508	45	6	10	15	74
	上祖師谷	32,399	39	3	5	17	63
	烏山	63,179	49	14	16	47	123
合計		915,216	1,894	187	342	1,313	3,570

※人口：令和4年3月1日現在。区ホームページより抜粋転載

(2) 地区内地域資源への訪問調査と把握件数

地域の活動団体が抱える活動人材の不足等といった課題の把握に努めるとともに、地域活動の拡充に向けて、機関や団体等とのネットワークづくりに取り組んだ。また、法人や団体等が保有する建物等の資源を地域福祉活動の新たな「場」として活用すべく協力要請を行った。

地域	地区	訪問調査件数				資源把握 件数	活用できる 場の件数	場の活用 実績件数
		サロン ミニデイ等	学校・施設 保育園等	事業者 NPO等	調査 総数			
世田谷	池尻	64	40	37	141	182	15	3
	太子堂	104	37	34	175	225	19	8
	若林	21	24	26	71	143	10	6
	上町	46	54	68	168	172	17	9
	経堂	126	38	71	235	186	17	6
	野沢・下馬	48	18	43	109	150	14	11
	上馬	107	58	53	218	110	22	10
北沢	梅丘	44	17	25	86	104	23	24
	代沢	54	22	17	93	101	9	6
	新代田	42	26	19	87	58	9	5
	北沢	46	6	30	82	72	10	5
	松原	152	14	82	248	130	14	14
	松沢	49	22	17	88	95	12	4
玉川	奥沢	215	92	59	366	221	18	9
	九品仏	107	56	53	216	148	12	5
	等々力	99	70	43	212	171	14	3
	上野毛	73	96	40	209	124	12	12
	用賀	101	96	71	268	123	16	12
	二子玉川	118	76	41	235	116	10	13
	深沢	182	89	54	325	222	31	12
砧	祖師谷	55	21	25	101	183	11	2
	成城	37	43	26	106	146	16	21
	船橋	36	11	17	64	146	17	10
	喜多見	119	21	55	195	119	14	4
	砧	181	74	46	301	150	13	11
烏山	上北沢	95	60	26	181	122	18	6
	上祖師谷	48	45	39	132	115	13	19
	烏山	40	57	55	152	172	6	2
合計		2,409	1,283	1,172	4,864	4,006	412	252
()は前年度実績		(2,482)	(992)	(909)	(4,383)	(3,780)	(378)	(230)

(3) 広報・啓発の取り組み

地域の活動団体の紹介や行事・イベント等について、メールでの配信やホームページへの掲載を通して、情報提供を行った。あわせて団体からのボランティア募集の情報を掲載し、地域活動への参加を促進した。

また、地区の福祉活動やイベント、事務局の取り組み等を盛り込んだ地区事務局ニュース等を作成・配布し、情報の提供と共に、取り組みの“見える化”を進めた。

地域	地区	地区メールマガジン		地区ホームページ
		配信件数	登録者数	団体紹介
世田谷	池尻	47	180	42
	太子堂	57	176	28
	若林	46	167	31
	上町	51	188	43
	経堂	49	195	39
	野沢・下馬	54	355	52
	上馬	64	182	41
北沢	梅丘	71	161	32
	代沢	63	151	23
	新代田	72	137	20
	北沢	59	149	33
	松原	64	143	46
	松沢	65	145	34
玉川	奥沢	65	277	46
	九品仏	51	268	31
	等々力	78	281	38
	上野毛	74	256	30
	用賀	59	288	33
	二子玉川	72	154	37
	深沢	62	288	76
砧	祖師谷	49	226	50
	成城	52	228	22
	船橋	54	221	39
	喜多見	48	183	47
	砧	51	265	57
烏山	上北沢	49	162	55
	上祖師谷	42	159	30
	烏山	55	177	59

(4) 地区の課題解決に向けたネットワークの取り組み (第2層協議体)

住民や地域の活動団体等の参画を得て、地区アセスメントやアウトリーチにより把握した地区の課題を中心にテーマを設定し、その解決に向けた検討を行うとともに、必要とされる生活支援サービス等の創出に取り組んだ。

池 尻	<p>地区社協事業である音楽交流会のお手伝いメンバーを中心に、過去の参加者向けにお便りを発行(夏、秋、冬号)。見守りを兼ね、訪問配達を実施した。今後このメンバーとともに、対面で会えない方や気になる方へのアウトリーチをどのように行っていくのか協議していく。</p> <p>まちこま会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となって開催できなくなったことから、オンラインで集まれる地域の活動団体へ声掛けを行い、試験的にオンラインミーティングを実施した。</p>
太子堂	<p>「ICTの活用を通じた孤立のない地域づくり」を目指して、スマホやオンラインの活用に関する困りごと・知りたいこと・高齢者を取り巻く課題について、地域住民と意見交換やニーズ把握を行ない、連続講座の開催につなげた。またデジタル端末の活用をサポートできる地域人材(デジタルボランティア)の発掘と育成を行い、ICTを通じたつながりづくり・居場所づくりに向けて、話し合いを重ねた。</p> <p>子育てネットワーク会議:地区内の子育て支援関係者(子サロンスタッフ・ファミサポ職員・おでかけ広場・子育て支援コーディネーター・主任児童委員等)に声かけし、コロナ禍での地域課題の共有と解決へ向けた連携について意見交換を行なう場を立ち上げた。次年度は子育て支援マップを作成していく。</p>
若 林	<p>地域のゆるやかな居場所としての「若林複合施設にいらっしゃいませんか」について、ラジオ体操連盟、地区サポーター、地区社協推進員の協力を得て実施。二者による相談コーナー、ラジオ体操、手づくりコーナー等、感染対策を行いながら開催した。あんしんすこやかセンターや民生委員が近隣の気になる高齢者に声をかけ参加につなげることができ、ゆるやかな見守りと交流の場となっている。認知症の方も会場準備等見守りのある環境下で活動を行い、やりがいにつながっている。</p> <p>若林地区社協だよりで「若林複合施設にいらっしゃいませんか」を見開きページで特集。活動の見える化を図った。</p>
上 町	<p>世田谷地区会館を活用した多世代の居場所「上町ふれあいカフェ・アドシュガー」の休止に伴い、「上町ふれあいカフェ通信」を発行。地区内の情報や三者を含む関係団体等の情報を掲載する。また、通信には返信用封筒を同封することで参加者の近況や取り組み等のリアクションを拾っていき通信の新たな掲載内容にする等、ゆるやかな見守りを年単位に渡って行いながら双方向のつながりを維持している。</p>
経 堂	<p>商店街の空きスペースで情報発信・相談機能を備えた居場所「きょう DO」の活動は通常開催が新型コロナウイルス感染症により休止のため、町会のイベント開催時に場所を借り、出張相談を実施した。また新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援活動として、町会や子ども食堂と連携し、フードドライブ、フードパントリーを実施。さらに非対面での新しいコミュニケーション・見守り支援として、ICT活用推進サロンの運営支援を行った。</p>
下 馬	<p>地域福祉推進員と関係団体・機関との協力により、サロンのざわ、ガレージでカフェ主催のリンパ体操の実施やサロン下馬和楽による「下馬和楽だより」の継続発行等コロナ禍にあっても住民のつながりづくりや見守り活動に努めた。また、地域活動者向けのスマホ講座の開催や町会、世田谷警察との協同による高齢者への防犯アプリの導入支援等の取り組みを通じ、ICTを活用した非対面での見守りやつながりの形について検討を実施した。</p>
上 馬	<p>支えあいの地域づくりのための「上馬困りごと検討会」において、地域住民の「困りごと</p>

	<p>＝地域課題」に対して困りごとワーキングを開催し、地区サポーターを中心に各町会の協力を得ながら「上馬まちなかクリーン作戦」を引き続き計画・実施した。認知症高齢者の社会参加のために「お気軽お掃除ウォーキング」を立ち上げた。また、高齢者と子育て世代のコロナ禍における新たなつながりづくりとして取り組んでいる「上馬こころでつながるプロジェクト（ここ☆つな）」の緊急企画として、ワクチン接種会場の活用を通して「医療従事者向け」のメッセージ交換を実施。さらに、地域課題の把握から男性高齢者の家事デビューを応援する「男の家事入門講座」にも取り組んだ。これらの活動に取り組むなかで、福祉人材の育成として地区サポーターを中心とした「なんじゃもんじゃの会」の組織化を支援した。</p>
梅丘	<p>終活を学ぶ場を通じて、新たな地域人材の活躍・新たな住民同士の交流の創出を目指す、「終活カフェ梅丘」を定期開催している。4月から開始を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7月に延期した。密回避のため交流や人材育成の取り組みは十分に行えていないが、テーマや会の進行を工夫して可能な範囲で取り組めるようスタッフとも調整した。</p> <p>また、「梅丘地区見守りネットの会」に町会自治会や民生委員に加え、介護事業所や商店街等の機関が参加することにより地域課題の把握と解決策検討の場とすることができた。</p>
代沢	<p>コロナ禍で、身近な相談・交流の場である4ヶ所の地域カフェ（「みどりのつどい」「代沢ガーデンカフェ」「居場所カフェ@しもきた」「下代田東カフェ」）が休止状態だったが、再開に向け運営相談にあたり、一部再開することができた。</p>
新代田	<p>「美まもりやまカフェ」をまもりやまテラスで月1回開催していたが、今年度は感染予防を考慮した内容を検討し、4回開催した。地区社協推進員、地区サポーター等がスタッフとなり、一人暮らしの高齢者や活動を休止しているサロンメンバーが参加し、コロナ禍での地域交流の場が構築出来た。</p> <p>買い物（外出）支援「新代田おでかけバス」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>
北沢	<p>地区高齢者見守りの観点で実施しているココロンさくらで、12月に密を回避した映画会を企画したが緊急事態宣言下で中止となった。地域福祉推進員研修会として、地域における高齢者の暮らし等の事例や課題解消策についてアイデアを集めるアンケートを配布した。「きらり☆きたざわ通信」を発行し、各サロン等に配布し啓発を図るとともに、日々の団体活動に対して状況確認した。</p>
松原	<p>年齢・性別・障害を問わず、誰もが気軽に立ち寄れる居場所である「茶話やか松原」は、感染拡大防止のため実施できなかったが、コロナ終息後の事業展開の準備期間として捉え、積極的に地域のNPO団体等へ働きかけ、連携強化を図った。また、関係機関と連携をしながら、おとこ塾の講座を2回実施、社協PR、人材発掘等に努めた。</p>
松沢	<p>福祉喫茶「YOU・遊」にて週1回実施していた「おしゃべり★カフェ」は感染症拡大防止の観点から、昨年度は休止をしていたが、三者連携で参加者あてに手紙を作成し、様子確認を行った。民間カフェの店舗を活用し、月1回実施する「おしゃべり★カフェ第2拠点」については、感染症拡大防止に留意し、できる範囲で開催した。</p> <p>地区社協事業として「生活応援広場」を企画し、松沢地区で生活にお困りのひとり親家庭および学生を対象とし、希望者に食糧品、日用品を準備し配布した。</p>
奥沢	<p>東玉川町会会館で開催している認知症カフェ（ひがたまカフェ）において、出張販売による買物支援「ひがたまカフェDEお買い物」を実施した。</p> <p>また、本事業を契機に地区内で展開が開始された他の移動販売情報をマップとして配布する準備に入っている。</p>

九品仏	子どもが安心して過ごせる場所が少ないという地区課題の解決に向けて、子育て関係団体ネットワークの立ち上げに取り組んだ。ネットワーク会議の開催により（3回、対面式）、等々力児童館と連携して、子どもの居場所提供の取り組みを開始するに至った。
等々力	高齢者の居場所づくりを見守りの効果と合わせて取り組むために、町会関係者を交え検討し、専門職による講座と交流の機会として、「高齢者お楽しみ交流会」を（企画）開催した。近隣の方向士の見守りにつながることを目的とした見守りパンフレット作成の検討や、居場所を支える人材育成や場作りに取り組むに至った。
上野毛	生きづらさを抱えた方への居場所支援として、地区内の農園を活用した「さわやか農園」プロジェクトを開始している。地域住民と協働で季節の農作物の栽培や収穫を通して土に触れることにより継続的な参加者もいる等居場所としての機能を果たしている。
用賀	引きこもりがちな方のように心に悩みを抱えた方の生活支援としての居場所「スペース2020」を月に1回開催している。どなたでも参加できる居場所として専門職も関わり、多職種で連携を図りながら、相談できる場としての機能も果たしている。
二子玉川	二子玉川地区社協として地域の課題解決に向けて立ち上げた、子育て関係団体ネットワークおよび Smile ひろば検討会（玉川3丁目区営アパート）で、地域生活課題の共有と解決に向けた取り組みを行っている。
深沢	地区サポーターを中心に運営を担う、認知症であっても通えるサロンの立ち上げ支援に取り組んだ。また、住民の感じる子育ての地区課題を把握し、その解決に向けた具体的活動を目指し、子育てサロンや地区社協等住民の参加する子育てネットワーク会議に取り組んだ。
祖師谷	協議体「公社けやきの会」で、コロナ対策を取りながら公社けやき運動サロンを開催し、住民の健康促進と外出の機会提供に努めた。また、12月の運動サロン終了後には茶話会も開催し、見守りの一環として顔を合わせての会話を楽しむ機会の提供ができた。買い物不便に対し安全に配慮して買い物ツアーを実施するとともに、商店街と協力した買い物マップの更新作業を地区サポーターの協力を得ながら進めた。 公社住宅での高齢者のごみ出し課題や建て替えに伴う引っ越しのための片付けの課題がある中、世田谷区の古着・古布回収時に地区サポーターの協力を得ながら古着をまちづくりセンターまで運ぶ支援を実施した。 また、北部ふくし検討会の再開に向け祖師谷地区北部にあるシェリルハウス世田谷（知的障がい者のグループホーム）を民生委員とともに訪問し顔つなぎを行った。
成城	成城北部の高齢者・障害者・子育て世代への生活支援として近隣施設とともに、出張型の福祉の相談窓口「お気軽に相談会」を実施し、松沢病院とオンラインでの相談会に取り組んだ。並行して、関係づくりを行ってきた男性シニアによる孤立しがちな退職後男性の引きこもり防止に向け、部会活動を行う「成城男ディ倶楽部」と、地区課題の検討を行う「成城セカンドコミュニティ会議」を実施した。
船橋	今年度の地区展開報告会の発表担当地区として、今までの協議体の経緯や実績を三者連携で調整、動画撮影と配信から協議体の取り組みを広域的に発信した。 高齢者を支えあう会について、コロナ講座の開催を分科会として調整を進め開催した。また、URから近隣住民との関係構築への取り組み展望についての共有、希望ヶ丘団地自治会の活動について適宜確認から動向を把握すると共に、滞っている取り組みや方向性の確認と検討を行う事で再開後の円滑な実施に向けて進めた。 都営船橋4丁目アパート協議体について適宜開催から住民の鍵管理課題、緊急連絡先確保、住民同士の関係づくりに取り組む。また、子どもぶんか村等とも連携した清掃活動やおやつステーションといった他機関を交えた地域交流の機会を調整した。

喜多見	買い物不便・交通不便エリアに対する支援策として「お買い物ツアー」と「移動販売会」を継続実施した。「お買い物ツアー」では対象外のエリアでも可能な限り送迎を行い、地区サポーターによる買い物中の付き添いや見守り等、足元が心配な人でも安心して参加できるよう配慮を行った。「移動販売会」では、実際に商品を目で見て選ぶことができることが好評で、コロナ禍で外出を控える住民にも活用された。
砧	大蔵住宅の今後を考える会・相談と交流の場のひまわり喫茶は、団地住民の転居や高齢化により開催が困難だったため、三者で福祉の出張相談会を実施した。団地住民の福祉ニーズは多いため、今後も三者で支援を続けていく。 「きぬた★手をつなごう会」では、孤立する子育て世帯への支援として、子育て広場をハイブリット形式で定期開催した。障害児が多い地区の特徴を踏まえ、より多くの子育て世帯の居場所となるよう、今後もハイブリット開催を継続していく。 住民主体の活動支援も継続的に行い、新規認知症カフェの立ち上げや高齢者の引き出し支援イベントも実施した。
上北沢	<上北沢縁側プロジェクト> コロナ禍でもつながりが維持できるよう、一昨年度のえんがわカフェ参加者に対し「えんがわ通信」を発行し、地域の方の寄付によるココロンのつまようじ入れと共に配付した。 <社会的養護児童を支えるネットワーク会議> 民生・児童委員、上北沢小学校遊び場開放運営委員、町会・自治会、地区社協、上北沢児童館、総合支所子ども家庭支援課、子ども家庭課、パルメゾン上北沢、福音寮、まちづくりセンターとネットワーク会議を開催し、コロナ禍の各団体の状況共有や今後に向けての検討を行った。
上祖師谷	児童館（ばる・粕谷）、子育て支援コーディネーター、社会福祉協議会をはじめとした、子ども・子育てに関連する関係機関がそれぞれの資源や強みを活かし、支援を展開することを目的に組織された「かみそベース」にて、双子の子育て等の生活課題の共有と、関係機関の連携による対応策等について意見交換を行った。
烏山	買物困難者に対し、宅配店舗や公衆電話の位置等を紹介した『買物支援マップ』の活用や地区内の移動販売、買物代行サービス等ニーズに合わせた支援ができよう連携を強化した。 子育て支援団体が集まり、コロナ禍の状況での活動についての情報共有を行い「地域で子どもを支えるつながりづくり」について意見交換を行った。来年度以降は、区の子ども計画に基づく児童館を中心とする子ども版三者連携やネットワーク会議にて検討を進めていく。

(5) 地域福祉コーディネート推進事業のスキルアップ

コミュニティソーシャルワークの専門性を高めるための専門研修を実施するとともに、都・区等が開講する研修に積極的に参加した。また、本部職員が地域事務所を訪問し、個別支援や地域づくりの取り組み、協議体の運営に関する進捗確認や助言指導等を適宜実施した。

研修	開催日等	人数	主な内容と講師
コミュニティソーシャルワーク研修 【全課常勤職員対象】	第1回 6月7日 第2回 10月22日 第3回 1月7日 【全回オンライン】	49人 43人 60人	○コミュニティソーシャルワークの視点と事例 検討方法 【講師】菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授)
コミュニティソーシャルワーク研修 【地域社協課常勤職員対象】	5月17日、24日 10月11日 12月20日	61人	○事例検討におけるアドバイスの視点 【講師】菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授)

コロナ禍における社会福祉協議会の取り組み報告会	3月15日 【収録】	—	○特例貸付申請受付を通じて見えてきた困窮者 ○食で応援プロジェクトの取り組み 他
地区担当新任職員研修	7月12日	12人	○地域資源開発事業概要・関連業務について
地域福祉支援員連絡会	7月19日、21日	43人	○重層的支援体制整備事業について コミュニティソーシャルワークについて 日常業務におけるCSW機能の発揮について
各地区個別研修 (本部職員による訪問指導)	49回 延84地区	計 117人	○各地区における課題解決に向けた第2層協議体の運営に関する助言 ○指導や他地区の取り組み情報の共有
生活支援コーディネーター初任者研修 (実施主体：東京都福祉保健局高齢社会対策部)	A 6月14、15日 B 7月5、6日 【オンライン】	9人	○生活支援コーディネーターの動き方・視点について 他
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ (実施主体：同上)	7月30日、9月17日、10月12日、12月3日、1月28日、2月14日【オンライン】	4人	○地域づくりの基本理念と全体像 ○協議の場づくりとネットワークキング ○協議の場の運営とファシリテーション 他
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ (実施主体：同上)	12月13日、21日 【オンライン】	4人	○実践報告と意見交換 「地域と人との接点をつくる養蜂プロジェクト」「既存の会議を『新たな協議の場に』」

別表5 「2-(1)-⑥ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな」）【区受託】」関係

令和3年度 なごみの広場ちとふな 実績報告

	日付	内容		参加者
1	4/13 (火)	おなか元気講座	講師：ヤクルト販売株式会社	13名
2	4/16 (金)	スマホ講座Ⅰ①	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	11名
3	4/23 (金)	スマホ講座Ⅰ②	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	14名
4	6/4 (金)	スマホ講座Ⅰ③	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	9名
5	6/16 (水)	お薬相談	下宿薬局桜丘店 薬剤師	1名
6	6/18 (金)	やわらぎマッサージ	世田谷区視力障害者福祉協会	11名
7	6/18 (金)	スマホ講座Ⅱ①	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
8	6/22 (火)	囲碁講座	講師：株式会社方円企画	16名
9	7/2 (金)	スマホ講座Ⅱ②	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
10	7/13 (火)	感染症予防講座～新型コロナウイルス感染症を防ごう！明日から役立つ消毒の基礎知識～	講師：フジバスク株式会社	18名
11	7/16 (金)	やわらぎマッサージ	世田谷区視力障害者福祉協会	8名
12	7/16 (金)	スマホ講座Ⅱ③	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	7名
13	7/27 (火)	囲碁講座	講師：株式会社方円企画	12名
14	8/6 (金)	スマホ講座Ⅲ①	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
15	8/20 (金)	やわらぎマッサージ	世田谷区視力障害者福祉協会	16名
16	8/20 (金)	スマホ講座Ⅲ②	講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	10名

17	9/3 (金)	スマホ講座Ⅲ③ 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	13名
18	9/14 (火)	意外と知らないお菜のこと 講師：ひばり薬局深沢三丁目店 薬剤師	15名
19	9/20 (月)	やわらぎマッサージ ※敬老事業とのタイアップ 世田谷区視力障害者福祉協会	42名
20	9/28 (火)	囲碁講座 講師：株式会社方円企画	14名
21	10/1 (金)	スマホ講座写真① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	4名
22	10/12 (火)	今から始めよう！お片付け講座 講師：整理収納アドバイザー：永井美穂氏	13名
23	10/15 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	15名
24	10/15 (金)	スマホ講座写真② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	10名
25	10/26 (火)	音楽演奏バイオリン 演奏：横手とよ子氏(特技ボランティア)	18名
26	11/5 (金)	スマホ講座写真③ 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	10名
27	11/9 (火)	ウイルスに負けない口腔ケア 講師：烏山通り歯科院長：小出 知弘氏	23名
28	11/19 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	13名
29	11/19 (金)	スマホ講座年賀状① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
30	11/30 (火)	囲碁講座 講師：株式会社方円企画	20名
31	12/3 (金)	スマホ講座年賀状② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
32	12/14 (火)	弦楽三重奏 演奏：マダム・トリオ(昼下がりの楽しいつどい)	14名
33	12/17 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	11名
34	12/17 (金)	スマホ相談会 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	9名
35	1/19 (水)	今から始めよう！老後のお金講座 講師：NPO 法人都民シルバーサポートセンター	10名
36	1/25 (火)	囲碁講座 講師：株式会社方円企画	11名
37	1/28 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	12名
38	1/28 (金)	スマホ講座Ⅳ① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	7名
39	2/4 (金)	スマホ講座Ⅳ② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
40	2/8 (火)	これで安心！終活講座 講師：カルチャーバピリオン平安世田谷	11名
41	2/18 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	14名
42	2/18 (金)	スマホ講座Ⅳ③ 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	8名
43	3/4 (金)	スマホ講座防災① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	9名
44	3/8 (火)	ウイルスに負けない口腔ケア 講師：烏山通り歯科院長：小出 知弘氏	16名
45	3/16 (水)	裂き布ぞうり作り講座Ⅱ 講師：NPO 法人えこひろば	5名
46	3/18 (金)	やわらぎマッサージ 世田谷区視力障害者福祉協会	12名
47	3/18 (金)	スマホ講座防災② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷	10名
48	3/22 (火)	囲碁講座 講師：株式会社方円企画	13名